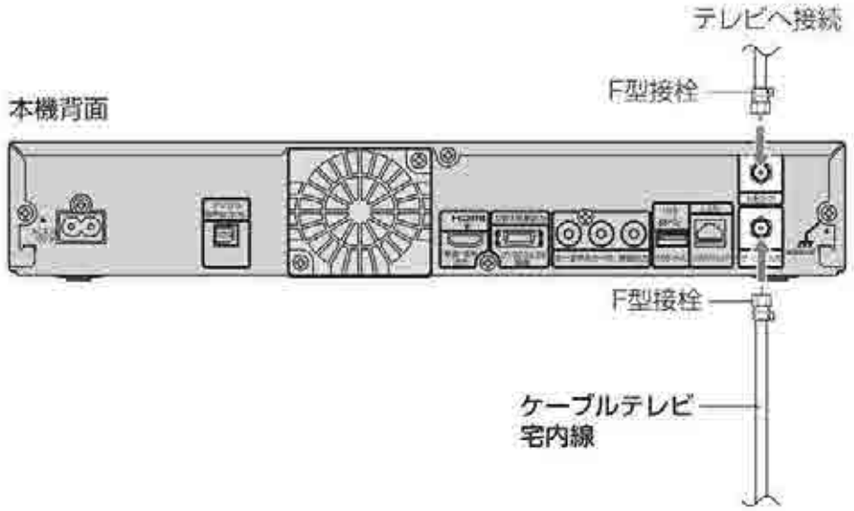
ケーブルテレビ宅内線の接続



お願い

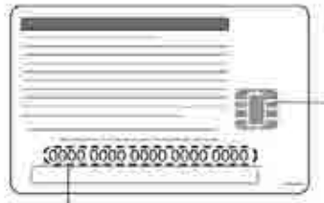
- ケーブル端子・分配出力端子にF型接栓を接続するときは、手で緩まない程度に締めつけてください。
  締めつけ過ぎると本機内部が破損する場合があります。
- ケーブル端子には、ケーブルテレビ宅内線以外のケーブルを接続しないでください。
- 分配出力端子には、BSアンテナなどへ電源供給を行っているケーブルを接続しないでください。

B-CAS／C-CASカードの挿入

BS／地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、2004年4月からコピー回数を限定したコピー制御信号を加えて放送されています。(☞ 42ページ)
その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

■ICカードについて

- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によりB-CASカードのみの場合があります。



ICカード番号

- 有料番組の契約内容などを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。裏表紙の「便利メモ」に記入しておいてください。

❶ 電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認する

(電源プラグを抜いた状態)

❷ 前面の扉を開け、ICカードを挿入し、扉を閉める

本機

扉の上部を指先で引いて開ける

ICカード挿入口(上段：C-CAS、下段：B-CAS)

- ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

ICカード
(絵柄表示面を上に)

■ICカードのテストをするとき

(☞ 81ページ)

■ICカードを抜くとき

① 電源プラグを電源コンセントから抜く
② ゆっくりとICカードを抜く

- ICカードには、IC(集積回路)が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。(☞ 112ページ)
- ICカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、ICカードテストを行ってください。(☞ 81ページ)

ICカードの抜き差しについては、ご加入のケーブルテレビ局にご相談いただき指示に従って操作してください。

■ICカード取り扱い上の留意点

- 折り曲げたり、変形させない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- 分解加工は行わない。
- 重いものを置いたり、踏みつけたりしない。
- IC(集積回路)部には手をふれない。

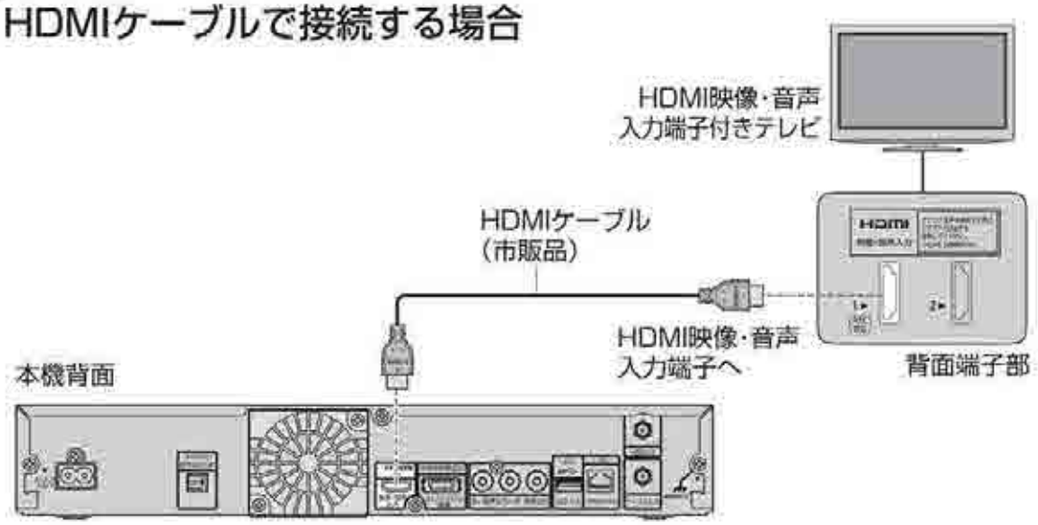
お願い

- 本機専用のICカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うとICカードは機能しません。

テレビの接続

接続は本機および各機器の電源プラグを電源コンセントに接続しない状態で行ってください。

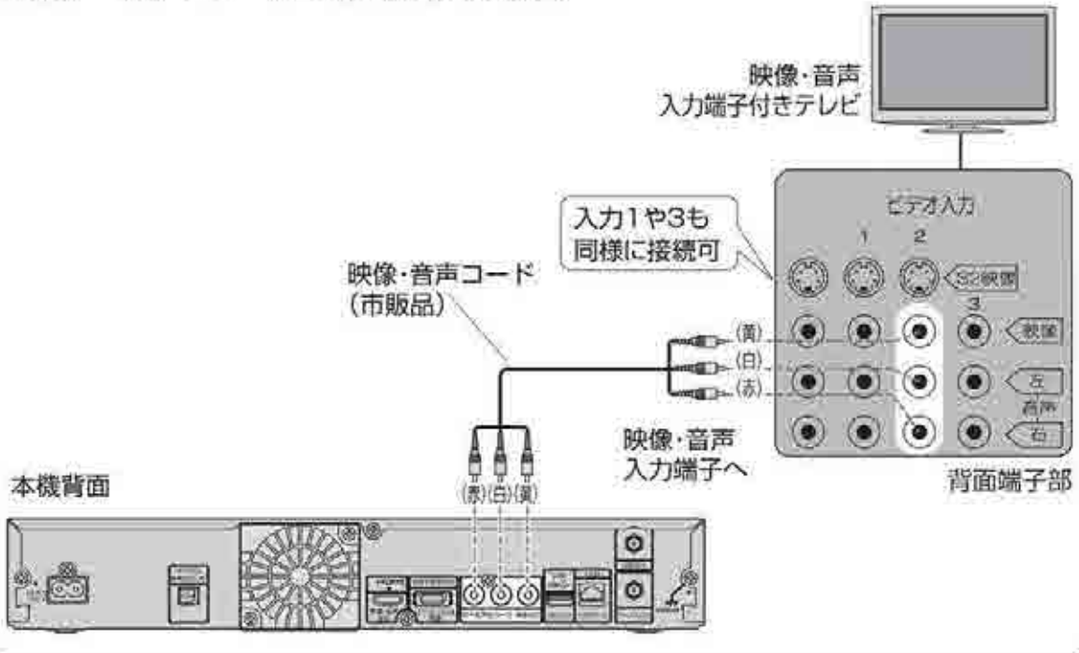
HDMIケーブルで接続する場合



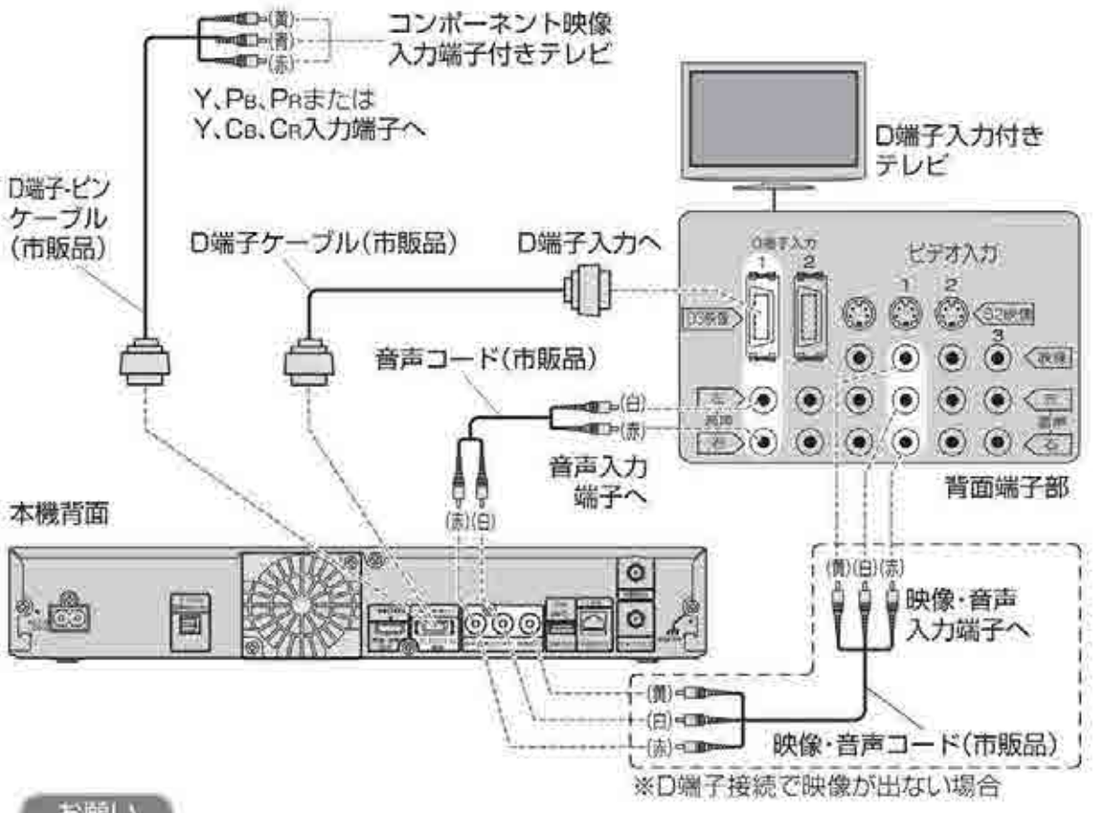
お願い

- HDMI規格に準拠したHDMIロゴのついたケーブルをご使用ください。
- 3D映像番組をご覧いただくためには、本機と3D対応テレビは3D対応HDMIケーブルでの接続が必要です。

映像・音声コードで接続する場合



D端子ケーブルで接続する場合



お願い

- 接続するテレビのD端子入力に合わせて「D端子出力解像度」の設定をしてください。(☞ 78ページ)
- 接続するテレビのコンポーネント映像入力端子が対応している信号方式に合わせて「D端子出力解像度」の設定をしてください。(☞ 78ページ)
- テレビがD1またはD2映像入力端子やテレビが480i信号のみに対応している場合は、上図の映像・音声コードを一時的に接続し、ビデオ入力画面で設定してください。

コピーガードがかかっている番組は録画機器を経由してテレビで視聴したり、一部のビデオ内蔵型テレビで視聴すると正常に受像できない場合があります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とテレビを接続してください。

ネットワークへの接続

インターネット(ブラウザ)をご利用いただく場合、本機のLAN(100BASE-TX)端子をお使いのブロードバンド環境へ接続してください。また、お部屋ジャンプリンクをご利用いただく場合は、本機と対応機器とのネットワーク接続が必要です。

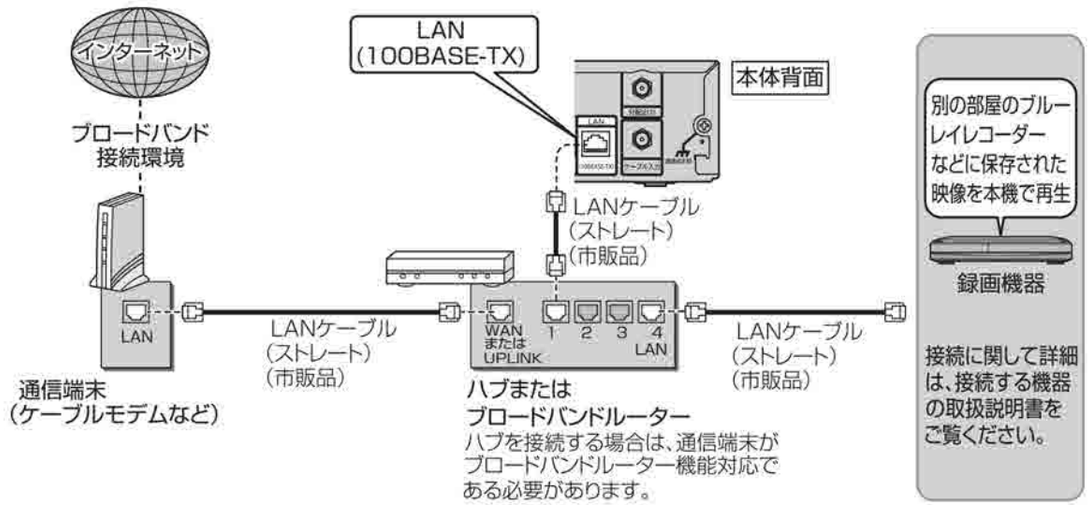
●TZ-HDW610P／TZ-HDW610PW／TZ-HDW611P／TZ-HDW611PWは、ケーブルモデムを内蔵していないため、ブラウザなどをご利用いただくためには、LAN(100BASE-TX)端子にブロードバンド環境への接続が必要です。

■ブロードバンド環境により必要な機器と接続方法が異なります。

●ケーブルモデムと接続するためには、ご加入のケーブルテレビ局と新たにご契約が必要になる場合があります。ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

●ご使用の環境によりケーブルモデムなどブロードバンド機器がご使用になれない場合があります。ご加入のケーブルテレビ局以外のプロバイダー経由でインターネット接続されている場合は、ご加入のプロバイダーにご相談ください。

有線LANのとき 無線LANの接続例については72ページをご覧ください。



■接続後は、必ずネットワーク関連設定(☞ 82～88ページ)を行ってください。

お願い

●ブロードバンドルーターやケーブルモデムはLAN端子が10BASE-T/100BASE-Tでもご使用いただけます。

●100BASE-TX用の機器を接続する場合は「カテゴリ5」以上のLANケーブルをご使用ください。

お知らせ

●電話用のモジュラーケーブルを、LAN 端子に接続しないでください。故障の原因になります。

●ポータルサイトの動画コンテンツを視聴するときは、光ファイバー(FTTH) でのブロードバンド環境が必要です。
- 100BASE-TX対応のハブまたはブロードバンドルーターをご使用ください。
- PLC※1を使わずにLAN ケーブルまたは無線LAN(TZ-HDW610F/TZ-HDW611F/TZ-HDW610P/TZ-HDW611Pは別売アダプター)でのご使用をおすすめします。

●本機ではインターネット(LAN)接続機器などの設定はできません。パソコンなどでの設定が必要な場合があります。

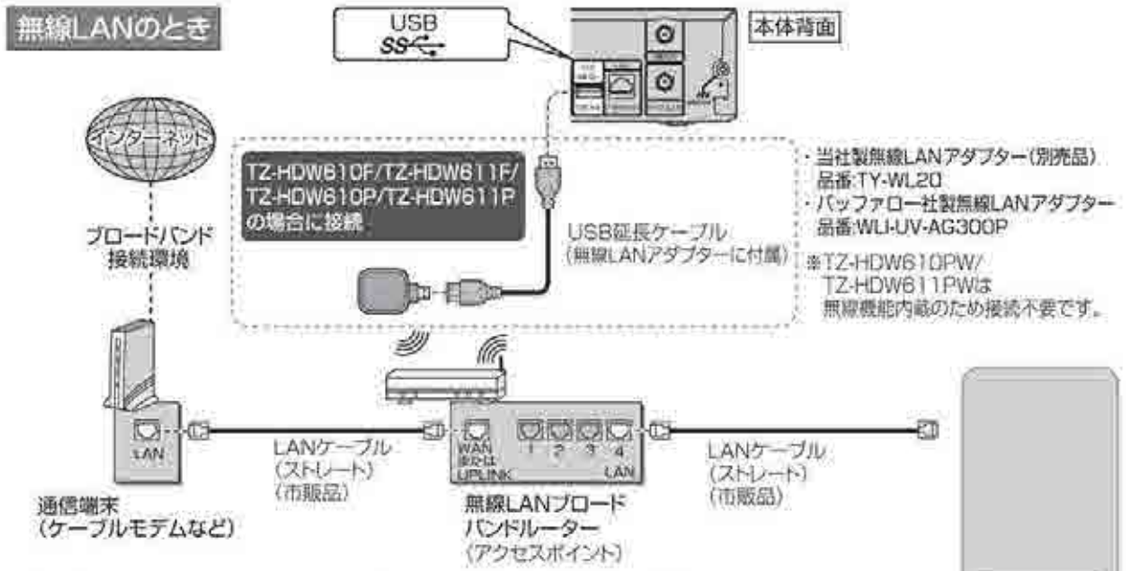
●本機に接続したDHCP※2でのIPアドレス自動取得が使えるブロードバンドルーターの電源を一度切ると、各機器に割り当てられるIPアドレスが停止して、電源を再び入れても、各機器間の通信ができなくなることがあります。本機をご使用中は、ハブまたはブロードバンドルーターの電源を切らないでください。

●本機にDHCPでのIPアドレス自動取得が使えないハブを経由して、各機器を接続しているとき、本機の電源を「入」にした直後は、各機器との通信に失敗することがあります。時間をおいて(約3分間)再度試してください。

※1 家庭内の電力線を使って、電源コンセントからネットワークに接続して情報を送受信する仕組みです。
※2 サーバーやブロードバンドルーターなどが、IPアドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みです。

ネットワークへの接続

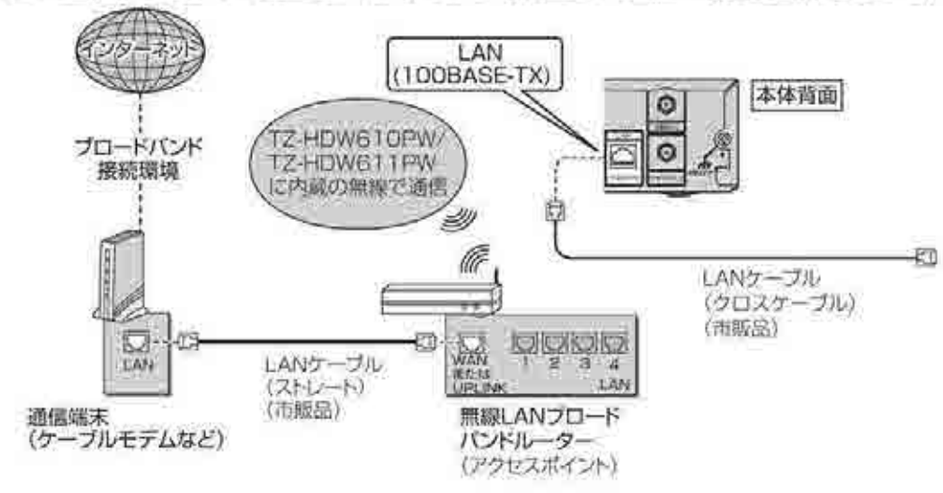
無線LANのとき



- 無線LANアダプターはUSB延長ケーブルでの接続を推奨します。
- 無線LANアダプターは良好な電波状態が確保できる場所に設置してください。
- USB端子に無線LANアダプターを接続したり外すときは、本機の電源を「切」にしてから行ってください。

無線LAN＋有線LAN(LAN録画・ダビング)のとき

TZ-HDW610PW/TZ-HDW611PWで無線LANを使い、LAN録画やダビングも行う場合の接続例です。
(LAN録画、ダビングやお部屋ジャンプリンクの再生は、有線LAN接続で動作します。)



■接続後は、必ずネットワーク関連設定(☞ 82~88ページ)を行ってください。

■無線 LAN について

- 別途、本機との接続に対応したアクセスポイントが必要です。
- アクセスポイントはWPS対応であることをご確認ください。(WPSに対応していない場合は、設定の際にアクセスポイントの暗号キーが必要になります。)
  詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- アクセスポイントとの無線方式は、11n(5 GHz)を推奨します。
  11a、11b、11g、11n(2.4 GHz)でも通信できますが、通信速度が遅くなることがあります。
- 本機と他の無線機器との接続環境によっては、通信速度が遅くなることがあります。
- アクセスポイントの無線方式を切り換えた場合は、無線LANで接続できていた機器(パソコンなど)が接続できなくなることがあります。
- 通信内容の傍受、不正利用、なりすましなどを防止するために、適切なセキュリティ設定(暗号化設定)を行ってください。詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- 電波を使う機器から離してください。
  電波の干渉による悪影響を防止するため、次の機器からできるだけ離してください。
  - 電子レンジ
  - 他の無線LAN機器
  - Bluetooth® 対応機器
  - その他2.4 GHz、5 GHzの電波を使用する機器(デジタルコードレス電話、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機、パソコン周辺機器など)
- 接続環境によっては、お部屋ジャンプリンクの再生で映像が途切れたり、再生できないことがあります。うまく再生できない場合は、有線LANで接続してください。
  (お部屋ジャンプリンク ☞ 41ページ)

お知らせ

- LAN録画(☞ 29ページ)を実行する場合は、有線LAN でのネットワーク接続でご使用ください。無線LAN またはPLC でのネットワーク接続では、LAN録画が正常に実行されない場合があります。

設置設定

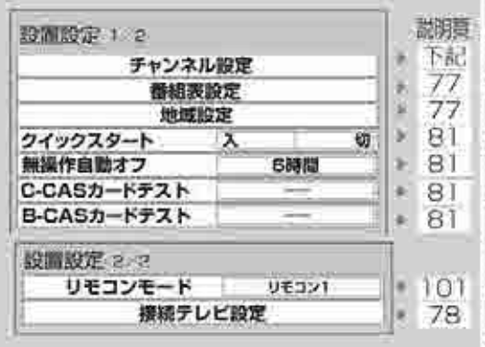
各機器を接続後、以下の設置設定を行ってください。

操作するリモコンのボタン位置 (☞ 11ページ)

1 戻る を押す

2 ▼で「設定する」を選び、決定 を押す

3 ▼で「設置設定」を選び、決定 を押す



- 設定が有効でない項目は、灰色表示になります。

チャンネル設定

BSは工場出荷時、いくつかのチャンネルが設定されていますが、お好みに合わせて変更することもできます。

- 普段よくご覧になるチャンネルは、リモコンの数字ボタンや、お好み選局に登録すると便利です。

4 ▼で「チャンネル設定」を選び、決定 を押す

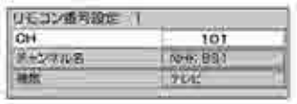
BS、CATVのとき

5 ▼で設定する放送を選び、決定 を押す

①▲▼で修正したい行(リモコン番号)を選び、決定 を押す

- 受信されている放送のみ表示されます。ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により表示が異なります。

②◀▶でCHを変更する



③戻る を押す

- リモコンの13~36に設定したチャンネルは、お好み選局表に登録され、その表から選局できます。
- 選局対象(☞ 60ページ)を「設定チャンネル」にすると、上記の手順で設定したチャンネルでの順送り選局ができます。

地上デジタルのとき

5 ▼で「地上デジタル」を選び、決定 を押す

改めて自動でチャンネル設定する

自動で設定したチャンネルを修正したいとき

地上デジタル放送の受信チャンネルが変わったとき、受信できる局を自動で追加するとき

- 設定中、戻る で1つ前の画面に戻ります。
- 設定後は、元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

初期スキャン

①◀で「初期スキャン」を選び、決定 を押す

②青 を押し、方式切換の画面が表示されたら◀▶でチャンネルスキャン方式を選び、決定 を押す

「パススルー」または「トランスモジュレーション」を選ぶ

設定の変更はご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。

③◀▶でお住まいの地域を選び、決定 を押す

- チャンネルスキャン画面を表示します。受信できるチャンネルを調べて新しく一覧表示します。(今までの設定は全てリセットされます。)
- スキャン中は映像と音声は出ません。終わるまでに、10分程度、かかる場合があります。

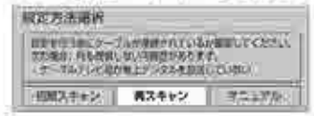
④正しく設定されていることを画面で確認し、戻る を押す

■修正したいとき

→☞ 右記「マニュアル」の手順②へ

再スキャン

①◀▶で「再スキャン」を選び、決定 を押す



- 10分程度、時間がかかる場合があります。
- 新たに受信できた放送局は自動的に追加されます。

② 正しく設定されていることを画面で確認し、戻る を押す

■修正したいとき

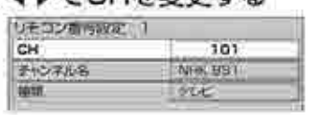
→☞ 下記「マニュアル」の手順②へ

マニュアル

①▶で「マニュアル」を選び、決定 を押す

②▲▼で修正したい行(リモコン番号)を選び、決定 を押す

③◀▶でCHを変更する



④戻る を押す

■設定した項目(「放送局名」や「CH」など)を他のリモコン番号と入れ替えたいとき

① 緑 を押す

② ▲▼で、入れ替えたい番号を選び、決定 を押す

③ ▲▼で、入れ替え先の番号を選び、決定 を押す

④戻る を2回押す

設置設定

以下は、74ページ手順❶~❸で「設置設定」画面を表示させてから行ってください。

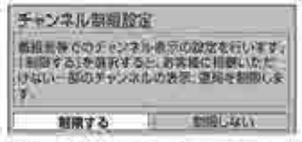
チャンネル制限

番組表の表示やチャンネル選局、お好み選局を視聴できるチャンネルのみに設定できます。
ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により表示されない場合があります。

❹ ▼で「チャンネル設定」を選び、決定 を押す

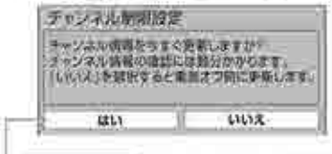
❺ ▼で設定する「チャンネル制限」を選び、決定 を押す

❻ ◀で「制限する」を選び、決定 を押す



●チャンネル制限をしないときは「制限しない」を選びます。

❼ ◀▶で設定を選び、決定 を押す



はい　チャンネル情報を今すぐ更新します。情報更新には数分かかります。
しばらくすると設定の完了画面が表示されます。

いいえ　チャンネル情報を電源オフ時に更新します。

お好み選局ボタンでチャンネル設定する

❶ 番組を見ているときに お好み選局 を押す

❷ ▲▼◀▶で登録したいボタンを選び、緑 を押す

<お好み選局画面>

❸ ▲▼で登録したいチャンネルを選び、決定 を押す

■設定したチャンネルを削除するとき
→▲▼◀▶で選び、黄 を押し、
◀で「はい」を選び、決定 を押す

チャンネル設定について

チャンネル設定のリモコン1~12に登録したチャンネルはリモコンの数字ボタン1~12で選局できます。またお好み選局の1ページ目に表示します。
(同様にリモコン13~24はお好み選局の2ページ目、リモコン25~36は3ページ目に表示します。)

● 設定中、戻る で1つ前の画面に戻ります。
● 設定後は、元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

以下は、74ページ手順❶~❸で「設置設定」画面を表示させてから行ってください。

番組表設定

地域に合わせた番組表を表示させるための設定です。

❶ ▼で「番組表設定」を選び、決定 を押す

❷ ▲▼で「Gガイド地域設定」を選び、◀▶でお住まいの地域を選ぶ

●設定を変更すると、番組情報が表示されなくなることがあります。
表示されなくなった場合は、設置設定を最初からやり直してください。

■番組表が受信できるか確認する
上記手順❷で「Gガイド受信確認」を選び、決定 を押す
●受信可能であればスケジュールを表示します。
●結果の表示に最大6分かかります。

地域設定

❶ ▼で「地域設定」を選び、決定 を押す

❷ ▼で「県域設定」を選び、◀▶でお住まいの地域を選ぶ

●伊豆、小笠原諸島地域は→「東京都島部」
●南西諸島鹿児島県地域は→「鹿児島県島部」

❸ ▼で「郵便番号」を選び、決定 を押す

❹ 1 ~ 10 (ゼロ) で郵便番号を入力し、決定 を押す

■入力を間違えたとき
→黄 を押す

❺ 確認画面で◀を押して「はい」を選び、決定 を押す

■地域設定を工場出荷時に戻すには
①▼で「地域設定削除」を選び、決定 を押す
②◀で「はい」を選び、決定 を押す

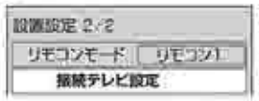
設置設定

以下は、74ページ手順❶～❸で「設置設定」画面を表示させてから行ってください。

接続テレビの設定

接続するテレビに合わせて映像信号の出力方式を切り換えます。

❶ ▼で「接続テレビ設定」を選び、決定 を押す



▼を押していくとページが変わります。

（設置設定2ページ目）

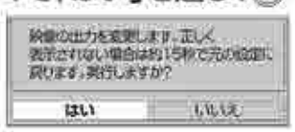
❷ ▼で「テレビアスペクト」を選び、◀▶で設定する

4:3	普通のテレビのとき
16:9	ワイドテレビのとき
16:9フル	ワイドテレビで左右の黒帯を無くして表示させるとき

- ワイドテレビにD端子がなく、別の入力端子で接続している場合は、テレビ側も画面モード切り換えで、送られてくる信号に合わせて正常な映像の横縦比になるモードを選んでください。

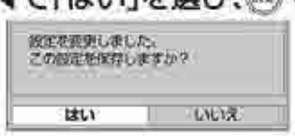
❸ ▼で「設定する」を選び、決定 を押す

❹ ◀で「はい」を選び、決定 を押す



- 「はい」を選ぶと、設定した映像信号が15秒間出力されます。
- 設定しない場合は、「いいえ」を選べば、「接続テレビ設定」画面に戻ります。

❺ 映像が正しく映れば ◀で「はい」を選び、決定 を押す



D端子に接続したとき

D端子で接続したときのみ設定を行ってください。

❶ ▼で「接続テレビ設定」を選び、決定 を押す

▼を押していくとページが変わります。

（設置設定2ページ目）

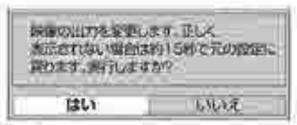
❷ ▼で「D端子出力解像度」を選び、◀▶で設定する

工場出荷時は「D3」に設定

「D1」「D2」「D3」「D4」から選ぶ
（詳細は右記の表をご覧ください。）

❸ ▼で「設定する」を選び、決定 を押す

❹ ◀で「はい」を選び、決定 を押す



- 「はい」を選ぶと、設定した映像信号が15秒間出力されます。
- 設定しない場合は、「いいえ」を選べば、「接続テレビ設定」画面に戻ります。

❺ 映像が正しく映れば ◀で「はい」を選び、決定 を押す

- 設定中、戻る で1つ前の画面に戻ります。
- 設定後は、元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

■接続するテレビの入力端子の形状

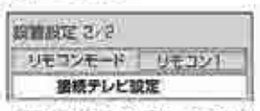
テレビのD映像入力端子	テレビのコンポーネント映像入力端子 (Y, PB/CB, PR/CR)
D1映像	480i(525i)の信号に対応
本機の設定	「D1」
D2映像	480i(525i)、480p(525p)の信号に対応
本機の設定	「D2」
D3映像	1080i(1125i)、480i(525i)、480p(525p)の信号に対応
本機の設定	「D3」
D4映像	1080i(1125i)、720p(750p)、480i(525i)、480p(525p)の信号に対応
本機の設定	「D4」

- 「テレビアスペクト」設定が「4:3」の場合は、「D1」・「D2」・「D3」が選択できます。

HDMI端子に接続したとき

HDMI端子で接続したときのみ設定を行ってください。

❶ ▼で「接続テレビ設定」を選び、決定 を押す



▼を押していくとページが変わります。

（設置設定2ページ目）

❷ ▼で「HDMI出力解像度」または「HDMI RGB出力レンジ」を選び、◀▶で設定する

①HDMI出力解像度
「オート」(工場出荷時)「480p」「1080i」「720p」から選ぶ

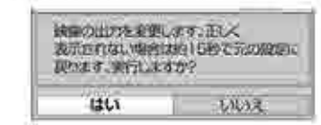
- 「オート」は、720p、1080i、480pの順で接続機器に適した解像度を自動で選択します。

②HDMI RGB出力レンジ
「スタンダード」または、「エンハンス」を選ぶ

- 映像の黒白が鮮明でないときは、「エンハンス」に設定してください。

❸ ▼で「設定する」を選び、決定 を押す

❹ ◀で「はい」を選び、決定 を押す



- 「はい」を選ぶと、設定した映像信号が15秒間出力されます。
- 設定しない場合は、「いいえ」を選べば、「接続テレビ設定」画面に戻ります。

❺ 映像が正しく映れば ◀で「はい」を選び、決定 を押す

次ページにつづく▶▶▶

設置設定

本機のHDMI出力端子または、D端子から出力される映像信号について

78～79ページのHDMI/D端子出力解像度の設定により、放送局から送信された信号方式［1080i、720p、480i、480p］を本機は下表のような信号方式で出力します。

設定			「HDMIおよびD端子出力解像度の設定」により本機から出力される信号方式			
D端子出力解像度			D1	D2	D3	D4
HDMI出力解像度			−−	480p	1080i	720p
放送局から送信される信号方式	HD	1080iの放送	480iに変換して出力	480pに変換して出力	1080iをそのまま出力	1080iをそのまま出力
		720pの放送			1080iに変換して出力※	720pをそのまま出力
	SD	480iの放送	480iをそのまま出力			1080iに変換して出力※
		480pの放送	480iに変換して出力	480pをそのまま出力		

※480i、480pの放送は1080iに変換されますが、画質は480i、480pと同等のままです。

お知らせ

- HDMI出力端子または、D端子映像出力端子から出力する映像信号は、放送局から送られてくる信号とHDMI出力解像度やD端子出力解像度の設定により異なります。正しく設定できていない場合は、映像が映らなかったり映像が映っても、接続されるテレビの持っている本来の画質にならないことがあります。

走査線について

1080i
デジタルハイビジョン放送（HD）の1つで、1/60秒ごとに1125本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース（飛び越し走査）方式です。走査線数は現行テレビ放送の525本の倍以上の1125本もあるため、細部までこまやかに表現され臨場感豊かな映像になります。

480i
デジタル標準テレビ放送（SD）の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース（飛び越し走査）方式です。

480p
デジタル標準テレビ放送（SD）の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を同時に流すプログレッシブ（順次走査）方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、チラツキが少なくなります。

720p
デジタルハイビジョン放送（HD）の1つで、1/60秒ごとに750本の走査線を同時に流すプログレッシブ（順次走査）方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、チラツキが少なくなります。

D端子から出力される映像信号について

ネットワーク接続されたDLNA対応機器の録画番組をお部屋ジャンプリンク経由で再生する場合、AACS（ブルーレイディスクの著作権保護技術）の運用ルールの制限により、再生する番組やディスクによって本機のD端子からハイビジョン映像（1080i、720p）で出力されない場合があります。

再生する番組、ディスク（お部屋ジャンプリンク）	本機のD端子ハイビジョン出力
BDディスクからハードディスクに書き戻し（ムーブバック）ダビングした番組	出力されません
ハードディスクにハイビジョン映像で録画した番組	D端子出力解像度で設定した信号方式で出力されます

以下は、74ページ手順❶～❸で「設置設定」画面を表示させてから行ってください。

クイックスタート

映像を早く映したいときに設定します。

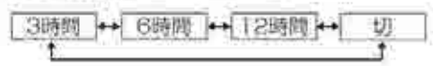
❶ ▼で「クイックスタート」を選び、◀で「入」を選ぶ

- クイックスタートが「入」のとき リモコンで電源オフ時、本体電源表示は橙色が点灯します。

無操作自動オフ

操作しない状態が設定時間続くと、自動的に電源を切り無駄な消費電力を低減します。
設定時間を短くすると、電源の切り忘れ時に効果があり省エネにつながります。

❶ ▼で「無操作自動オフ」を選び、◀▶で時間を設定する



■「無操作自動オフ」がはたらくと

- 電源が切れる3分前になると3、2、1と数字が点滅します。

- 戻る、[元画面]などのボタン操作で解除されます。
- 録画動作中に無操作自動オフ機能が働いた場合、本体の電源はオフになりますが、録画は停止しません。

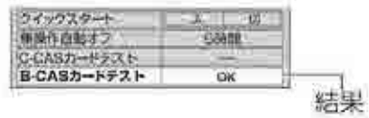
C-CAS/B-CASカードテスト

- カードを挿入して3秒以上経ってから行ってください。
- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により、B-CASカードのみの場合があります。

❶ ▼で「C-CASカードテスト」を選び、決定 を押す

「NG」が出たら、C-CASカードの挿入を確認してください。（☞ 67ページ）

❷ ▼で「B-CASカードテスト」を選び、決定 を押す



「NG」が出たら、B-CASカードの挿入を確認してください。（☞ 67ページ）

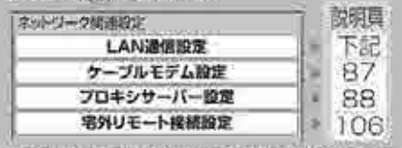
ネットワーク関連設定

本機をネットワーク接続するための設定です。
- TZ-HDW610PW/TZ-HDW611PW以外の場合、無線LANの設定は、無線LANアダプターを接続してから行ってください。(☞ 72ページ)
- 接続設定につきましては、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
- ご加入のケーブルテレビ局以外のプロバイダー経由でインターネット接続されている場合は、ご加入のプロバイダーにご相談ください。

1 戻る を押す

2 ▼で「設定する」を選び、決定 を押す

3 ▼で「ネットワーク関連設定」を選び、決定 を押す



- 設定が有効でない項目は、灰色表示になります。

LAN通信設定

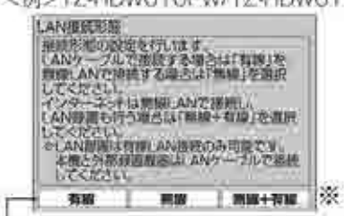
4 ▼で「LAN通信設定」を選び、決定 を押す

有線/無線LANの設定

5 ▼で「LAN接続形態」を選び、決定 を押す

6 ◀▶で設定を選び、決定 を押す

<例>TZ-HDW610PW/TZ-HDW611PWの表示例



※

有線	LANケーブルで接続の場合
無線	無線LANで接続の場合
※ 無線+有線	インターネットは無線LANで接続し、LAN録画も行う場合 (TZ-HDW610P/TZ-HDW611P/TZ-HDW610PW/TZ-HDW611PWのみ選べます。)

アクセスポイント接続設定

LAN接続形態で「無線」または「無線+有線」と設定した場合に必要です。

5 ▼で「アクセスポイント接続設定」を選び、決定 を押す

6 確認画面が表示されたら決定 を押す
- アクセスポイント接続設定の画面が表示され、現在の接続設定と接続状態を確認できます。

7 ▶で「いいえ」を選び、決定 を押す
- 設定しない場合は「はい」を選び終了する。

※初回の接続設定時は、自動的に手順**8**へ進みます。

■無線接続について

アクセスポイントがWPSに対応している場合は、「WPS(プッシュボタン)方式」を選ぶとかんたんに設定することができます。
対応していない場合は、「アクセスポイント検索」または「手動設定」を選んで設定を行ってください。
・接続先のアクセスポイントがWPS対応であるかどうかは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

- 設定中、戻る で1つ前の画面に戻ります。
- 設定後は、元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

WPS(プッシュボタン)方式の場合

8 ▲▼で「WPS(プッシュボタン)方式」を選び、決定 を押す

9 アクセスポイント(無線LAN親機)の「WPS」ボタンを対応ランプが点滅するまで押す

※ WPS対応ランプが点滅したら、決定 を押す

設定がはじまります。

※アクセスポイント(無線LAN親機)により、操作方法・ボタン・ランプなどは異なります。詳しくは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

10 「アクセスポイントへの接続が完了しました。」と表示されたら、決定 を押す

WPS(PINコード)方式の場合

アクセスポイント接続設定の画面で
「WPS(PINコード)方式」を選び、決定 を押す
- WPS(PINコード)方式に対応した無線LANアクセスポイントが表示されます。
- ▲▼で接続したいアクセスポイントを選び、決定 を押すとPINコードが表示されます。PINコードを接続したいアクセスポイントに入力してください。
- 接続機器へのPINコードの入力については、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

アクセスポイント検索の場合

アクセスポイント接続設定の画面で
「アクセスポイント検索」を選び、決定 を押す
- 本機でスキャンすることができた無線LANアクセスポイントが表示されます。
- ▲▼で接続したいアクセスポイントを選び、決定 を押すと暗号キーの入力画面が表示されます。暗号キーを入力してください。

手動設定の場合

アクセスポイント接続設定の画面で
「手動設定」を選び、決定 を押す
- 接続するアクセスポイントのSSID、認証化方式、暗号化方式、暗号キーを画面に従って入力してください。入力内容がアクセスポイントと違う場合は、接続できません。

IPアドレス/DNS設定

5 ▼で「IPアドレス/DNS設定」を選び、決定 を押す

6 DHCPでのIPアドレス自動取得が使えるとき

①▼で「IPアドレス自動取得」を選び、決定 を押す

②確認画面が表示され、◀で自動取得「する」を選び、決定 を押す

ブロードバンドルーターやルーター機能付きADSLモデムをお使いの場合は、通常DHCPでのIP自動取得が使えます。それぞれの機器の説明書をご覧ください。

次ページにつづく▶▶▶

ネットワーク関連設定

● 設定中、戻る で1つ前の画面に戻ります。
● 設定後は、元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

IPアドレスを手動で入力するとき

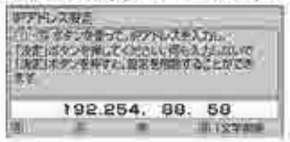
①▼で「IPアドレス自動取得」を選び、決定 を押す

②確認画面が表示され、◀▶で「自動取得しない」を選び、決定 を押す

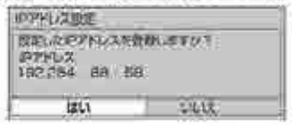
③▼で「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」をそれぞれ選び、決定 を押す

④ブロードバンドルーターの仕様を確認し、IPアドレスを画面の指示に従ってそれぞれ入力する

<入力画面例(IPアドレス)>



IPアドレスを修正するときは 黄 (1文字削除)で消去後に入力してください。



IPアドレスが0~255の範囲外の場合は、エラーメッセージが表示されます。

● 設定は、「接続テスト」を行うと有効になります。

⑦ DHCPでのDNSアドレス自動取得が使えるとき

①▼で「DNS-IP自動取得」を選び、決定 を押す

②確認画面が表示され、◀で「自動取得する」を選び、決定 を押す

DNSアドレスを手動で入力するとき

①▼で「DNS-IP自動取得」を選び、決定 を押す

②確認画面が表示され、◀▶で「自動取得しない」を選び、決定 を押す

③▼でプライマリDNS、セカンダリDNSをそれぞれ選び、決定 を押す

④ご加入のケーブルテレビ局または、ご加入のプロバイダーから指示された、IPアドレスを画面の指示に従ってそれぞれ入力する

<入力画面例(プライマリDNS)>

IPアドレスを修正するときは 黄 (1文字削除)で消去後に入力してください。

IPアドレスが0~255の範囲外の場合は、エラーメッセージが表示されます。

● 設定は、以下の「接続テスト」を行うと有効になります。

接続テスト

83ページ手順⑥のとき

「接続テスト」を選び、決定 を押す

OK 接続が完了

NG ブロードバンド環境の接続(☞70、72ページ)と設定の確認を行い、82ページからの設定を確認して再度テストしてください。

テスト中 テスト中

お部屋ジャンプリンク(DLNA)を設定する

ネットワーク接続されたDLNA対応録画機器の録画番組を見るための設定をします。

⑤ 82ページ手順⑤のとき
▼で「お部屋ジャンプリンク(DLNA)設定」を選び、決定 を押す

本機の名称

本機の機器名を変えることができます。

⑥ ▼▲で「本機の名前変更」を選び、◀▶で機器名を選ぶ

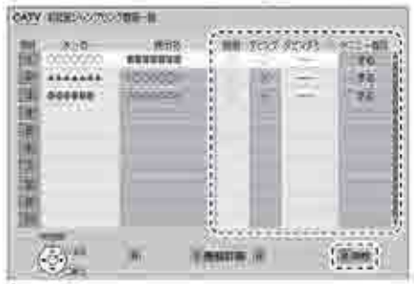
(例 TZ-HDW610F/P/PWのとき)

お部屋ジャンプリンク機器を選ぶ

ネットワークに接続されているお部屋ジャンプリンク機器の一覧が表示されます。
ご使用の機器がLAN録画、ダビングに対応しているか確認できます。

⑥ ▼▲で「お部屋ジャンプリンク機器一覧」を選び、決定 を押す

⑦ ▼▲で使用するお部屋ジャンプリンク機器を選び、決定 を押す



● 「録画」欄
「可」の録画機器にLAN録画が可能です。
● 「ダビング」欄
「可」の録画機器にダビングが可能です。
● 「ダビングモード」欄
機器により選択できるダビングモードが異なります。(ダビングモードを切り換える ☞ 右記)

お部屋ジャンプリンク機器の設定

左記 手順⑦のとき

▲▼でサーバー機器を選び、決定 を押す

■メニュー登録
▲▼で「メニュー登録」を選び、◀▶で選択してください。
● 「お部屋ジャンプリンク」、「ダビング」、「LAN録画」で使用する場合は、「する」に設定してください。

■ダビングモードを切り換える
▲▼で「ダビングモード」を選び、◀▶で選択してください。
● 機器により設定できない場合があります。
・「ー ー」:ダビングが「不可」な機器
・「そのまま」:通常のダビングに対応した機器
・「サイズ優先」:番組持ち出しに対応したモバイル機器(サイズ優先でダビング)
・「画質優先」:番組持ち出しに対応したモバイル機器(画質優先でダビング)

■ダビングの記録先を設定する
▲▼で「録画先」を選び、◀▶で設定する
※機器によっては表示されない場合があります。

■サーバー機器を起動する
▲▼で「Wake On LAN」を選び、決定 を押す
※サーバー機器により、起動できない場合があります。その場合は、直接起動させてください。

お知らせ
● 「画質優先」「サイズ優先」でのダビングでは、以下のようになります。
・ダビングには番組とほぼ同じ時間がかかる場合があります。
・字幕データは引き継がれません。
・音声は主音声のみになります。
● モバイル機器によっては、「画質優先」と「サイズ優先」でダビングした番組のサイズと画質が共に同じになる場合があります。

ネットワーク関連設定

お部屋ジャンプリンク機器の詳細情報

85ページ手順❼のとき

<お部屋ジャンプリンク機器一覧画面>

赤 でお部屋ジャンプリンク機器の詳細情報を確認できます。

記録できる残り時間

- 機器の内容が正しく表示されないときは、ネットワーク接続や選択した機器の設定を確認してください。
- 詳細情報の内容は機器によって異なります。

■登録を解除する

▲▼でサーバー機器を選び、黄 を押す
- ◀▶で「はい」を選ぶ

ホームサーバー機能(DLNA)を設定する

ホームサーバー機能と視聴機器(DLNA対応)を設定します。

82ページ手順❻のとき

❺ ▼で「ホームサーバー機能(DLNA)設定」を選び、決定 を押す

ホームサーバー機能を「入」にする

❻ ▲▼で「ホームサーバー機能」を選び、◀▶で「入」を選ぶ

- ホームサーバー機能設定を「入」にすると、クイックスタート「入」時と同じように動作し、待機時消費電力は最小になりません。

視聴機器の許可を設定する

❻ ▲▼で「接続許可方法」を選び、◀▶で「自動許可」「手動許可」を選ぶ

自動許可 視聴機器が接続されたらすべて「許可」されます。

手動許可 ①▲▼で「視聴機器一覧」を選び、決定 を押す
②▲▼で「許可」したい視聴機器を選び、決定 を押す

接続が「許可」されます。

TZ-HDW610F/TZ-HDW611Fのみケーブルモデムを内蔵しています。
それ以外の機種はケーブルモデム関連の各項目は表示されません。

- 設定中、戻る で1つ前の画面に戻ります。
- 設定後は、元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

ケーブルモデム設定

❶ 操作説明 を押す

❷ ▼で「設定する」を選び、決定 を押す

❸ ▼で「ネットワーク関連設定」を選び、決定 を押す

❹ ▼で「ケーブルモデム設定」を選び、決定 を押す

ケーブルモデムとは
CATVの回線を使ってインターネットに接続するための装置です。電話回線におけるモデムの役割を果たすため、ケーブルモデムと言います。

接続テスト

❺ ▼で「IPアドレス/DNS設定」を選び、決定 を押す

❻ ▲▼で「接続テスト」を選び、決定 を押す

OK 接続が完了

NG ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

テスト中 テスト中

ケーブルモデムの情報を確認する

内蔵のケーブルモデム情報を確認することができます。

❺ ▼で「ケーブルモデム情報表示」を選び、決定 を押す

❻ ケーブルモデム情報を確認する

- ケーブルモデムを使用しない設定の場合、ケーブルモデム情報は表示しません。

ケーブルモデムの電源を連動する

本機と内蔵ケーブルモデムの電源「入」「切」を連動させるかどうかの設定を行います。

❺ ▼で「ケーブルモデム電源連動」を選ぶ

❻ ◀▶で「する」「しない」を選び、決定 を押す

する 本機の電源「切」時、内蔵のケーブルモデムも電源「切」

しない 本機の電源「切」時、内蔵のケーブルモデムは電源「入」

お知らせ

- ケーブルモデム電源連動設定は、変更できない場合があります。
  変更される場合はご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
- クイックスタート(☞81ページ)を「入」に設定すると、ケーブルモデムの電源設定にかかわらず、ケーブルモデムの電源は、常時「する」になります。
- ケーブルモデム電源連動を「しない」に設定すると消費電力は増えますが、電源「入」時にブラウザの起動が早くなります。

ネットワーク関連設定

以下は、82ページ手順❶～❸で「ネットワーク関連設定」画面を表示させてから行ってください。

プロキシサーバー設定

本機のブラウザ機能でホームページを正しく表示させるための設定です。

- プロキシアドレス
  ブラウザの代わりに目的のサーバーに接続し、ブラウザにデータを送る中継サーバーのアドレス。
  ご加入のケーブルテレビ局からの指定があるときのみ、設定が必要です。
  (例:proxy.○○○.ne.jp)
- プロキシポート番号
  プロキシアドレスと共に、ご加入のケーブルテレビ局から指定される番号です。
  (例:8000)

82ページ手順❸のとき

❹ ▼で「プロキシサーバー設定」を選び、決定 を押す

❺ ▼で「プロキシアドレス」を選び、決定 を押す

❻ プロキシアドレスを入力し、決定 を押す

●文字の入力方法(☞ 57、58ページ)

❼ ◀で「はい」を選び、決定 を押す

❽ ▼で「プロキシポート番号」を選び、決定 を押す

❾ 1 ～ 10(ゼロ) でポート番号を入力し、決定 を押す

❿ ◀で「はい」を選び、決定 を押す

接続テスト

ポータルサイトに接続できるか確認します。

左記手順❺のとき

▲▼で「接続テスト」を選び、決定 を押す

■接続テスト用サイトにつながり「OK」が表示されたとき
→正しく設定ができています。

■正しく接続されなかったとき
→画面上にメッセージが表示されます。
接続と設定をご確認ください。
(☞ 70、72、82～88、113ページ)

ホームのアドレスを確認する

「ネット操作」パネル(☞ 54ページ)で「ホーム」を選んだときに表示されるページのアドレス(URL)を確認できます。

左記手順❹のとき

▼で「ホームアドレス」を選び、決定 を押す

新しい情報のダウンロード方法を選ぶ

ご加入のケーブルテレビ局から送られる新しい情報のダウンロード方法を選ぶことができます。

ダウンロードについて
ご加入のケーブルテレビ局からの情報を本機に取り込むことにより、本機の制御プログラムを最新のものに書き換えます。

ダウンロード予約する

❶ 操作一覧 を押す

❷ ▼で「設定する」を選び、決定 を押す

❸ ▼で「ソフトウェア更新設定」を選び、決定 を押す

❹ ▼で「放送ダウンロード予約」を選び、◀▶で「自動」か「手動」を選ぶ

自動 通常は「自動」をおすすめします。
リモコンで電源「切」時に情報が届いた場合は、自動的にダウンロードを実行します。

手動 情報が届いた場合は、メールでお知らせします。
メールを確認し、「ダウンロード予約」の「する」か「しない」を選びます。
(☞ 64ページ「放送メール」)

ネットワークを利用してソフトウェアを更新する

❶ 操作一覧 を押す

❷ ▼で「設定する」を選び、決定 を押す

❸ ▼で「ソフトウェア更新設定」を選び、決定 を押す

❹ ▼で「ソフトウェア更新」を選び、決定 を押す

●本機をネットワーク接続している場合、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。更新する場合は、画面の指示に従ってください。

お知らせ

- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により、ご利用できない場合があります。
- 更新中は他の動作はできません。また、故障の原因となるので、以下の動作は行わないでください。
  本機の電源を切る
  電源プラグをコンセントから抜く

●設定中、戻る で1つ前の画面に戻ります。
●設定後は、元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

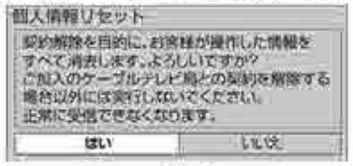
設定をリセットする

本機(内蔵ハードディスク)に保存したすべての内容を消去します。

個人情報をリセットする

操作するリモコンのボタン位置 (☞ 11ページ)

1. 操作一覧 を押す
2. ▼で「設定する」を選び、決定 を押す
3. ▼で「設定リセット」を選び、決定 を押す
4. ▼で「個人情報リセット」を選び、決定 を3秒以上押す
5. ◀で「はい」を選び、決定 を押す



「受信機内部の初期化が終了しました。電源プラグを抜いてください。」のメッセージが表示されます。

本機の電源プラグを抜いてください。

お知らせ

- 本機に記録されているお客様に関する個人情報(メールや購入記録、データ放送のポイントなど)が、すべて削除されます。
- 内蔵HDDおよびUSBハードディスクはフォーマット(初期化)されません。
- 双方向データ放送やブラウザでのサービスをご利用の場合、本機からの操作により、ケーブルテレビ局や放送局、インターネットのホームページに登録された情報は、この操作では削除されませんので、ご注意ください。それぞれのサービスで情報の削除操作(退会手続きなど)を行ってください。

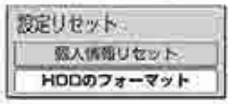
内蔵ハードディスクを全消去する(HDDフォーマット)

操作するリモコンのボタン位置 (☞ 11ページ)

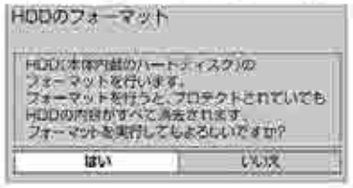
本機をケーブルテレビ局へ返却するときに登録した個人情報を消去します。

ケーブルテレビ局への返却などで本機のご使用を中止される場合以外には、実行しないでください。

1. 左記手順❶〜❸の操作のあと ▼で「HDDのフォーマット」を選び、決定 を3秒以上押す



2. ◀で「はい」を選び、決定 を押す



お知らせ

- フォーマット実行中は、電源「切」「入」など本機の操作は行わないでください。故障の原因となります。
- 内容の消去に3分程度かかります。画面表示に従い操作してください。

● 設定中、戻る で1つ前の画面に戻ります。 ● 設定後は、元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

本機とテレビの電源を連動させる

テレビの電源と連動する

HDMI電源連動機能のある当社製テレビをHDMI経由で接続すると、本機とテレビの電源操作を連動させることができます。
テレビ側でもHDMIの設定を行ってください。

1. 操作一覧 を押す
2. ▼で「設定する」を選び、決定 を押す
3. ▼で「接続機器関連設定」を選び、決定 を押す
4. ▼で「ビエラリンク(HDMI)設定」を選び、決定 を押す
5. ▼で「電源オフ連動」を選び、◀で「入」を選ぶ

「ビエラリンク制御」の項目を「入」に設定している場合に設定できます。

- 入 本機の電源を「切」にするとテレビの電源も「切」になる
- 切 電源オフ連動を無効にする

お知らせ

- HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。

ECOスタンバイ

当社製テレビの電源「入」「切」に連動して、本機の電源「切」の状態を設定します。

- テレビの電源「切」時には消費電力を少なくし、電源「入」時には本機がすぐに起動できる状態にします。

1. 操作一覧 を押す
2. ▼で「設定する」を選び、決定 を押す
3. ▼で「接続機器関連設定」を選び、決定 を押す
4. ▼で「ビエラリンク(HDMI)設定」を選び、決定 を押す
5. ▼で「ECOスタンバイ」を選び、◀で「入」を選ぶ

「ビエラリンク制御」の項目を「入」に設定している場合に設定できます。

- 入 すぐに起動できる状態になる
- 切 消費電力を少なくする

お知らせ

- ビエラリンク(HDMI)Ver.4.0以降対応している当社製テレビとの接続が必要です。
- 「入」にすると、内部の制御部が通電状態になるので待機時電力量が最小になりません。

● 設定中、戻る で1つ前の画面に戻ります。 ● 設定後は、元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

オーディオ機器の接続と設定

AACやドルビーデジタル対応のオーディオ機器を接続したときは、以下の設定を行ってください。

■接続できるオーディオ機器

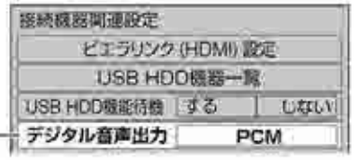
- デジタル音声入力(光)端子を持ち、PCMまたはAAC※1、ドルビーデジタル※2対応のアンプやサンプリングレートコンバーター内蔵のオーディオ機器に対応しています。
- オーディオ機器の取扱説明書も、よくお読みください。

1 戻る を押す

2 ▼で「設定する」を選び、決定 を押す

3 ▼で「接続機器関連設定」を選び、決定 を押す

4 ▼で「デジタル音声出力」を選び、◀▶で設定する



PCM	オーディオ機器が「AAC」や「ドルビーデジタル」に対応していないとき(工場出荷時)
Bitstream	AACの番組のときは、「AAC」出力、ドルビーデジタルの番組のときは、「ドルビーデジタル」出力それ以外は、「PCM」出力
自動	サラウンド・ステレオ(5.1ch)番組のときのみ自動的に「AAC」や「ドルビーデジタル」出力に切り換える

お知らせ

- 「Bitstream」にすると、字幕放送やデータ放送の効果音が、デジタル音声出力(光)端子から出力されません。「PCM」にするか、ビデオ出力の音声端子をご使用ください。
- 「AAC」や「ドルビーデジタル」対応のオーディオ機器を接続する場合、「PCM」と「AAC」の入力に対し自動切換機能のあるものをおすすめします。
- HDMI接続機器が「AAC」や「ドルビーデジタル」対応の場合は、HDMI音声出力はデジタル音声出力で設定した音声方式で出力されます。HDMI接続機器が「AAC」や「ドルビーデジタル」非対応の場合は、HDMI音声出力は「PCM」で出力されます。

※1 AACとは、音声符号化の規格の一つです。AACは、CD(コンパクトディスク)並みの音質データを約1/12にまで圧縮できます。また、5.1チャンネルのサラウンド音声や多言語再生を行うこともできます。

※2 ドルビーデジタルとは、映画やコンサート会場の臨場感をご家庭でお楽しみいただけるデジタル音声規格のひとつです。

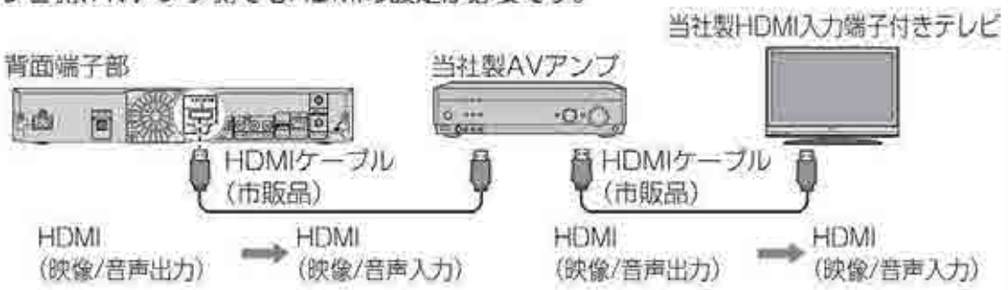
- 設定中、戻る で1つ前の画面に戻ります。
- 設定後は、元の画面 でテレビ放送の画面に戻します。

音声の出力先を切り換える(ビエラリンク制御)

ビエラリンク制御機能がある当社製テレビまたはAVアンプをHDMI経由で接続すると、テレビの音声出力先を切り換えることができます。

ビエラリンク制御機能がある当社製AVアンプをHDMI経由で接続してください。

- テレビ側、AVアンプ側でもHDMIの設定が必要です。



1 戻る を押す

2 ▼で「設定する」を選び、決定 を押す

3 ▼で「接続機器関連設定」を選び、決定 を押す

4 ▼で「ビエラリンク(HDMI)設定」を選び、決定 を押す

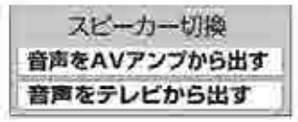
5 ▼で「ビエラリンク(HDMI)制御」を選び、◀で「入」を選ぶ

入	●本機の電源を「入」にするとテレビの電源も「入」になり本機の入力に切り換わる ●テレビの電源を「切」にすると本機の電源も「切」になる
切	ビエラリンク(HDMI)制御を無効にする

6 クイック⑤ を押す

7 ▲▼ で「スピーカー切換」を選び、決定 を押す

8 ▼で音声出力先を選び、決定 を押す



お知らせ

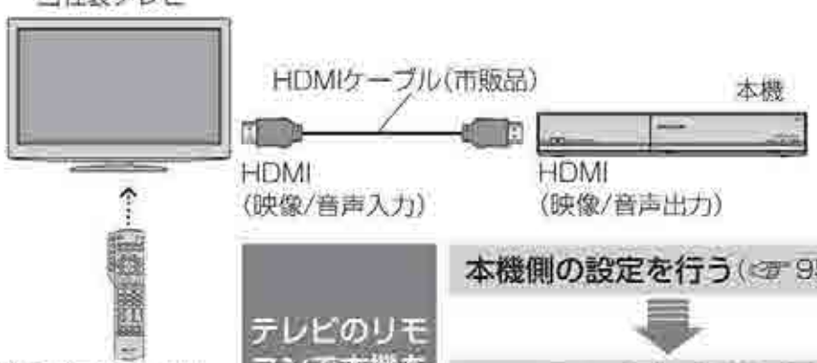
- AVアンプは必ず本機とテレビの間に接続してください。
- ビエラリンク制御を行うには、接続したテレビ側、AVアンプ側の設定も必要です。詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
- 本機からAVアンプへ番組に応じた最適な音声モードに切り換えることができます。(☞ 92ページ)

ビエラリンク(HDMI)を使う

ビエラリンク(HDMI)Ver.3以降に対応した当社製テレビ「ビエラ」、またはAVアンプをHDMI経由で接続すると以下の操作ができます。

本機能は、接続した各機器のビエラリンク(HDMI)がVer.3から使用できます。
テレビのビエラリンクのバージョンは、テレビの取扱説明書でご確認ください。
本機はビエラリンク(HDMI)Ver.4に対応しています。

テレビ(ビエラ)のリモコンで本機を操作することができます。



●本機を操作するときは、テレビのリモコンをテレビに向けてください。

テレビのリモコンで本機を操作するには

本機側の設定を行う(☞95ページ)

↓

テレビ側の設定を行う

テレビ側の設定操作については、テレビの取扱説明書を参照ください。

お知らせ

●本機とテレビの電源が「入」の状態で、テレビ側の入力切換の設定が本機のときに、ビエラリモコンで本機を操作することができます。

番組に適したAVアンプの音声モードを自動で切り換えることができます。(オートサウンド連携)

本機との接続は93ページをご覧ください。

オートサウンド連携を使うには

本機側の設定を行う(☞95ページ)

↓

AVアンプ側の設定を行う

AVアンプ側の設定操作については、AVアンプの取扱説明書を参照ください。

●当社製HDMIケーブルを推奨します。
●HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
●ビエラリンク(HDMI)は、HDMI CEC(Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社が独自機能を追加したものです。

■HDMIケーブル(当社製)について
・品番:RP-CDHS10(1 m)
・品番:RP-CDHS15(1.5 m)
・品番:RP-CDHS20(2 m)
・品番:RP-CDHS30(3 m)

●設定中、戻るで1つ前の画面に戻ります。
●設定後は、視聴でテレビ放送の画面に戻します。

テレビ(ビエラ)のリモコンで本機を操作するための設定

テレビのリモコンで操作するための設定を行います。
本機のリモコンで以下の設定を行ってください。

1. 操作一覧を押す
2. ▼で「設定する」を選び、決定を押す
3. ▼で「接続機器関連設定」を選び、決定を押す
4. ▼で「ビエラリンク(HDMI)設定」を選び、決定を押す
5. ▼で「ビエラリンク(HDMI)制御」を選び、◀で「入」を選ぶ
6. ▼で「ビエラリモコンで操作」を選び、◀で「入」を選ぶ

ビエラリンク(HDMI)設定		
ビエラリンク(HDMI)制御	入	切
電源オフ連動	入	切
ビエラリモコンで操作	入	切
オートサウンド連携	入	切
ECOスタンバイ	入	切
バージョン	ビエラリンク Ver.4	

ケーブルテレビを見るための各操作
(☞96~99ページ)

オートサウンド連携を使うための設定

AVアンプの音声モードを自動で切り換えるための設定を行います。

1. 操作一覧を押す
2. ▼で「設定する」を選び、決定を押す
3. ▼で「接続機器関連設定」を選び、決定を押す
4. ▼で「ビエラリンク(HDMI)設定」を選び、決定を押す
5. ▼で「ビエラリンク(HDMI)制御」を選び、◀で「入」を選ぶ
6. ▼で「オートサウンド連携」を選び、◀で「入」を選ぶ

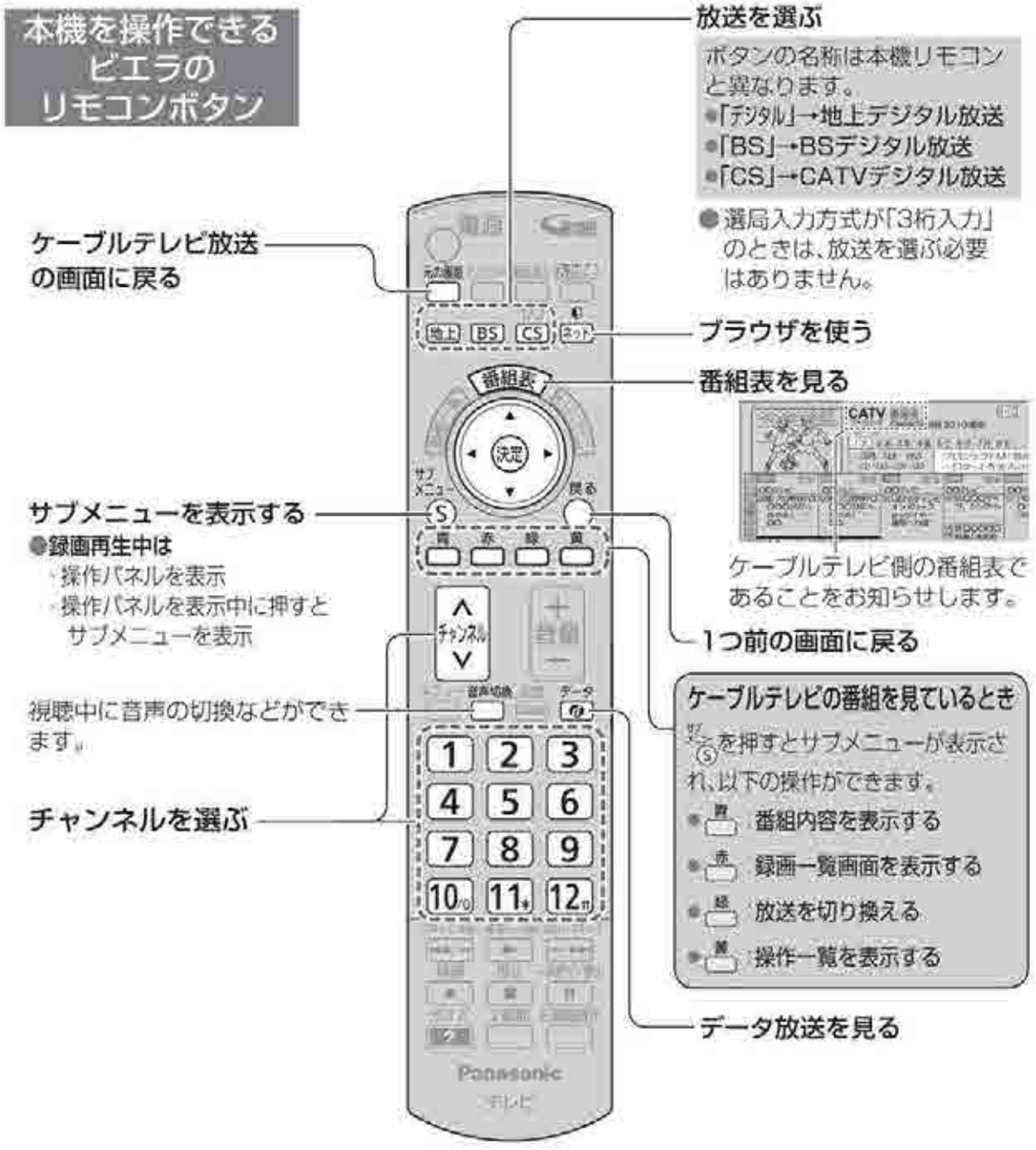
ビエラリンク(HDMI)設定		
ビエラリンク(HDMI)制御	入	切
電源オフ連動	入	切
ビエラリモコンで操作	入	切
オートサウンド連携	入	切
ECOスタンバイ	入	切
バージョン	ビエラリンク Ver.4	

ビエラのリモコンで本機を操作する

本機の操作をするための準備

テレビ(ビエラ)のリモコンで本機を操作するには、あらかじめテレビの操作から本機の操作に切り換えるための切り換え操作が必要です。
切り換え操作の詳細はテレビの取扱説明書をご覧ください。

本機を操作できるビエラのリモコンボタン



ボタンの名称は本機リモコンと異なります。
- 「デジタル」→地上デジタル放送
- 「BS」→BSデジタル放送
- 「CS」→CATVデジタル放送

●選局入力方式が「3桁入力」のときは、放送を選ぶ必要はありません。

ケーブルテレビ側の番組表であることをお知らせします。

ケーブルテレビの番組を見ているとき

サブメニュー(S)を押すとサブメニューが表示され、以下の操作ができます。
- 青: 番組内容を表示する
- 赤: 録画一覧画面を表示する
- 緑: 放送を切り換える
- 黄: 操作一覧を表示する

<ビエラのリモコン(例:TH-L32X5)>

ビエラの機種によっては、ボタンの配置と使用できるボタンが異なる場合があります。詳しくは、ビエラの電子説明書(VIERA操作ガイド)をご覧ください。

テレビ(ビエラ)リモコンの詳細はテレビの取扱説明書をご覧ください。

ブラウザを利用する

インターネットを利用した生活情報やテレビ向けの双方向情報提供サービスを見ることができます。

1 ネットを押す

<画面例>

●ブラウザの詳細操作は、54ページを参照ください。

データ放送を見る

お住まいの地域の天気予報やテレビ放送やラジオ放送に連動した情報を閲覧したり、視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向(インタラクティブ)サービスを利用することができます。

1 データを押す

<画面イメージ>

2 ▼▲で見たい項目を選び、決定を押す

●以降の操作は、23ページを参照ください。

各種の設定を行う

1 ビエラリンクを押す

2 を選び、決定を押す

3 ▼▲で「ケーブルテレビの操作」を選び、決定を押す

→本機の「操作一覧」が表示されます。

以降の操作は、本取扱説明書の各設定に対応したページをご覧ください。

Sを押し、サブメニュー画面を表示させてから 青 を押すと上記の「操作一覧」が表示されます。

VODをご利用のとき

1 上記の操作一覧画面のとき
▼▲で「ビデオ・オン・デマンド」を選び、決定を押す

VODを使用できないときは、表示されません。

ビエラのリモコンで本機を操作する

テレビ(ビエラ)リモコンの詳細はテレビの取扱説明書をご覧ください。

<ビエラのリモコン(例:TH-L32X5)>

録画・再生

録画予約する

1 番組表 を押す

2 番組表から▼▲◀▶で録画したい番組を選び、決定 を押す

例:選んでいる番組が黄色になる

●録画予約についての詳細(☞29ページ)

再生する

1 サブメニュー(S) を押す

→サブメニューが表示されます。

2 赤 を押す

→録画一覧画面が表示されます。(☞36ページ)

3 ▼▲で番組を選び、決定 を押す

→選んだ番組の再生が始まります。

●再生中の操作は(☞下記)

●録画番組の消去やプロテクト設定変更について(☞38、39ページ)

再生中の操作(一時停止やサーチなど)

再生中に、サブメニュー(S) を押す

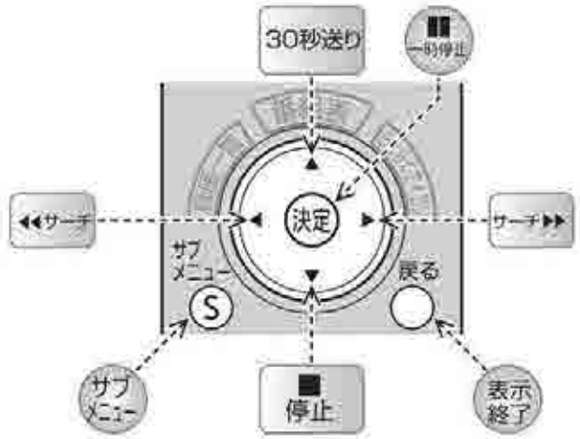
→操作パネルが表示されます。

操作パネル
(しばらくすると表示は消えます。)

操作パネルを表示中に、操作パネルに応じたリモコンのボタンを押してください。(操作内容の詳細は下記の表を参照ください。)

一時停止やサーチなどのボタンを押すと操作パネルの表示が変ります。

操作パネルのボタンは、リモコンのボタン位置に対応しています。



操作パネルが消えたときは、再度、サブメニュー(S) を押してください。

操作内容	操作ボタン	
通常の再生に戻す	決定 または 戻る	一時停止中、早送り中、早戻し中から通常の再生画面に戻します。
一時停止	決定	番組の再生を一時停止します。
停止	▼	番組の再生を停止します。
早送り(サーチ▶▶)	▶	押すごとに、速度が速くなります。(5段階)
早戻し(◀◀サーチ)	◀	押すごとに、速度が速くなります。(5段階)
30秒先へスキップ再生	▲	1回押すごとに、約30秒飛び越して再生します。
15秒逆へスキップ再生	長押し ▲	約15秒戻って再生します。

■操作パネルを消す

戻る を押す

■サブメニューを表示する

サブメニュー(S) を押す

サブメニュー表示中にできるカラーボタンの操作

カラーボタン(再生中にサブメニュー表示のとき)	内蔵ハードディスク
青	番組内容を表示する
赤	録画一覧を表示する

リモコンについて

テレビのメーカー設定

本機のリモコンでお手持ちのテレビの基本的な操作をすることができます。
（電源の入切、入力の切り換え、チャンネル選局、音量調整）

■設定方法

テレビ－電源 ボタンを押したまま、 → 下表より お手持ちのテレビのメーカーに対応するボタンを選び、順番に押す。（工場出荷時はパナソニック（新1）に設定）

テレビメーカー	ボタンを順番に押す	テレビメーカー	ボタンを順番に押す	テレビメーカー	ボタンを順番に押す
パナソニック（新1）	1 と 1	SONY（1）	3 と 5	富士通ゼネラル（2）	5 と 6
パナソニック（新2）	1 と 2	SONY（2）	3 と 6	三洋（1）	6 と 1
パナソニック（旧）	1 と 3	パイオニア	4 と 1	三洋（2）	6 と 2
パナソニック（新3）	1 と 4	シャープ（1）	4 と 5	三洋（3）	6 と 3
パナソニック（新4）	1 と 5	シャープ（2）	4 と 6	三洋（4）	6 と 4
ビクター	2 と 1	シャープ（3）	4 と 7	NEC（1）	6 と 5
東芝	2 と 5	三菱（1）	5 と 1	NEC（2）	6 と 6
日立（1）	3 と 1	三菱（2）	5 と 2	AIWA	7 と 1
日立（2）	3 と 2	三菱（3）	5 と 3	FUNAI	7 と 2
日立（3）	3 と 3	三菱（4）	5 と 4	――	
日立（4）	3 と 4	富士通ゼネラル（1）	5 と 5	――	

お知らせ

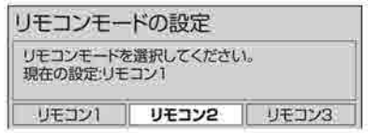
- 同一メーカーで設定が2種類以上ある場合は、動作するほうに設定してください。
- 接続したテレビにリモコン機能がない場合は、本機のリモコンでも動作しません。
- 電池の交換などで設定が「パナソニック（新1）」に戻った場合は、再設定してください。
- 一部動作しない機種もあります。動作しない場合は、テレビに付属のリモコンをご使用ください。
- 当社製テレビの場合、パナソニック（新3）またはパナソニック（新4）に設定すると、入力切換 を押すことで入力の切り換えおよびテレビの放送に切り換えができます。切り換えることができない場合やテレビの放送に切り換えたくない場合は、パナソニック（新1）、パナソニック（新2）、パナソニック（旧）のいずれかに設定してください。

リモコンモードの設定

本機を複数台使用される場合、他のリモコンからの動作を防ぐためにリモコン発信器のモードを変えることができます。

本機側の設定

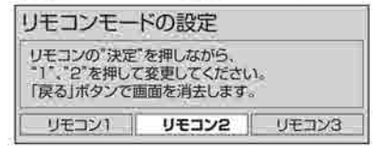
1. 操作一覧 を押す
2. ▲▼で「設定する」を選び、決定 を押す
3. ▼で「設置設定」を選び、決定 を押す
4. ▲▼で「リモコンモード」を選び、決定 を押す
5. ◀▶でモードを選ぶ
   （例）リモコン2を選んだとき



リモコン側の設定

6. 決定 を押しながら、1、2 を順番に押し、戻る を押す

（例）リモコン2を選んだとき



- 「リモコン1」を選んだときは 1、1 、「リモコン3」を選んだときは 1、3 を順番に押します。

リモコンボタンでの入力文字一覧表

ボタン ＼ 入力モード	かな	カナ	英数	数字
1	あ い う え お ぁ ぃ ぅ ぇ ぉ 1	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ 1	@ . / : ¯ _ 1	1
2	か き く け こ 2	カ キ ク ケ コ 2	a b c A B C 2	2
3	さ し す せ そ 3	サ シ ス セ ソ 3	d e f D E F 3	3
4	た ち つ て と っ 4	タ チ ツ テ ト ッ 4	g h i G H I 4	4
5	な に ぬ ね の 5	ナ ニ ヌ ネ ノ 5	j k l J K L 5	5
6	は ひ ふ へ ほ 6	ハ ヒ フ ヘ ホ 6	m n o M N O 6	6
7	ま み む め も 7	マ ミ ム メ モ 7	p q r s P Q R S 7	7
8	や ゆ よ ゃ ゅ ょ 8	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ 8	t u v T U V 8	8
9	ら り る れ ろ 9	ラ リ ル レ ロ 9	w x y z W X Y Z 9	9
10	、 。 ? ！ ・ （ ） 0	、 。 ? ！ ・ （ ） 0	― , : ' " ? ! ( ) & ¥ 0	0
11	わ を ん ゎ ー スペース	ワ ヲ ン ヮ ー スペース	スペース	*
12	改行	改行	改行	#

- ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。（例：「い」を入力するときは 1 を2回押す）
  未確定の文字があるときに 12 を押すと、表の逆順で文字が変わります。
- 「英数」と「数字」は半角で入力されます。（▼を押すと全角に変換されるものもあります）
- 濁点や半濁点を入力するときは→文字に続けて 10 を押す

アイコン一覧

●本機はアイコン(機能表示のシンボルマーク)によって、表示画面の情報をお知らせします。
●放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

番組内容画面

テレビ　テレビ放送(映像＋音声)の番組。

データ　データ放送の番組。

+d テレビ　番組内容に関連したデータ放送を行っている番組。

+d ラジオ　ラジオ放送番組で、番組内容に関連したデータ放送を行っている番組。

信号　映像や音声、データのいずれかを信号切り換えができる番組。

モノラル　モノラル音声の番組。

ステレオ　ステレオ放送の番組。

デジタル XCOPY　デジタルコピーガードが、かかっている番組。(デジタルで録画できません)

アナログ XCOPY　アナログコピーガードが、かかっている番組。(アナログで録画できません)

制限 COPY　「ダビング10」または「1回だけ録画可能」のコピー制限のある番組。

デジタル 1COPY　「1回だけ録画可能」のコピー制限のある番組。

ラジオ　ラジオ放送の番組。

d テレビ　番組とは別のデータ放送を行っている番組。

d ラジオ　ラジオ放送で、番組とは別のデータ放送を行っている番組。

16:9 1080i　番組の映像信号情報。
上：画面の横縦比(16：9、4：3)
下：信号方式(1080i、720p、480p、480i)

主+副　二重音声信号で、「主＋副」音声の番組。

サラウンド　5.1chなどのサラウンド放送の番組。

有料　有料のデータを含む番組。(ペイ・パー・ビュー番組)
CATV放送では表示されません。

マルチビュー　マルチビュー放送の番組。CATV放送では表示されません。

字幕　番組の中に字幕(日本語／英語)の情報が含まれている番組。

20才～　視聴年齢制限がある番組。(表示される年齢は4～20才まであります)

アナログ X出力　アナログ(ビデオ出力、D端子映像出力)出力していない番組。)

お知らせ

●「デジタル1COPY」のアイコンが出ない番組でも、録画機器によってはダビングができない場合があります。

番組ジャンル

●番組をジャンル別に検索するときに選ぶ。(☞ 20ページ)

映画　音楽　ニュース／報道　劇場／公演
ドラマ　バラエティ　アニメ／漫画　趣味／教育
スポーツ　情報／ワイドショー　ドキュメンタリー／教養　福祉

●別に、ジャンル名をイラスト化して表示しているアイコンがあります。

予約一覧画面

見るだけ　見るだけ予約した番組。

録画 HDD　録画 USB HDD　録画予約した番組。(下：録画機器、方式)

探して毎回★　探して毎回予約で予約した番組。

次回未定　探して毎回予約で次回の放送がまだ見つかっていないとき。

月～土　月～金　毎日　毎週　毎週、毎日、曜日指定での予約。

重複　予約時間が重なっている予約。

実行中　現在、実行中の予約。

検索中　時間変更追従を実行中。(時間確認中)

済 取消　お客様の操作や録画機器の状態により録画が取り消されたときに表示。

済 おしらせ　予約実行の途中中断、時間の変更、指定の信号で録画できない、録画機器が正しく動作していない場合。

PPV　有料のデータを含む番組。(ペイ・パー・ビュー番組)

済　予約時間が終了した予約。

その他の画面

メール一覧画面で、お客様がまだ読まれていないメール(未読メール)

メール一覧画面で、お客様が既に読まれたメール(既読メール)

予　番組表で予約された番組
(白色：LAN録画予約
赤色：内蔵ハードディスク録画予約
USBハードディスク録画予約
青色：見るだけ予約)

予　探して毎回予約

未　未視聴番組

プロテクトのかかった録画番組

(赤)　正常に録画できなかった番組

(赤)　録画中

まとめ　まとめ番組

【ダビング関連のアイコン (☞ 36ページ)】

(青)　ダビング中

D　「あとからダビング」に登録されている録画番組

(青)　ダビングが失敗した録画番組

成功　ダビングが正常に終了した場合

失敗　ダビングが正常に終了しなかった場合

待機　「あとからダビング」が再実行の待機中

【録画モード変換のアイコン (☞ 39ページ)】

長1　長時間1

長2　長時間2

M　録画モード変換登録済み(録画一覧)

→長1 →長2　録画モード変換登録済み/録画モード変換中(録画モード変換一覧)

操作一覧(メニュー)

操作一覧	設定項目	ページ
番組を探す/予約する	番組表で	18
	注目番組一覧	22
	今放送中から	20
	フリーワードで	20
	ジャンル別に	20
	キーワードで	21
	人名で	21
	時間指定予約で	31
	予約一覧	35
機器を操作する	HDD	36
	SDカード	50
	お部屋ジャンプリンク	41
情報を見る	放送メール	64
	購入記録	64
	購入記録送信結果	64
	ICカード	65
	ステータス表示	65
	ボード	65
	ダビング履歴	65

操作一覧	設定項目	詳細設定項目	ページ
設定する	システム設定	字幕の設定	60
		制限項目設定	62
		文字入力設定	60
		録画・視聴設定	61
		選局対象	60
		二重音声設定	61
		タイトル表示	61
		前面パネル輝度	61
		HDオプティマイザー	62
		選局入力方式	62
		チャンネルアップダウン	60
		音声ガイドの設定	61
	設置設定	チャンネル設定	74
		番組表設定	77
		地域設定	77
		クイックスタート	81
		無操作自動オフ	81
		C-CASカードテスト	81
		B-CASカードテスト	81
		リモコンモード	101
		接続テレビ設定	78
	ネットワーク関連設定	LAN通信設定	82
		ケーブルモデム設定	87
		プロキシサーバー設定	88
		宅外リモート接続設定	106
	接続機器関連設定	ビエラリンク(HDMI)設定	94
		USB HDD機器一覧	26
		USB HDD機能待機	27
		デジタル音声出力	92
	ソフトウェア更新設定	放送ダウンロード予約	89
		ソフトウェア更新(ネットワーク)	89
	設定リセット	個人情報リセット	90
		HDDのフォーマット	90
テレビでネット※	—	—	—
ビデオ・オン・デマンド※	—	—	—

※テレビでネット、ビデオ・オン・デマンドが使用できるときに表示されます。

お知らせ
- 詳細については該当のページをご覧ください。
- メニュー操作で設定画面を表示させたとき、設定が有効でない項目は、灰色表示になります。

同時動作と優先動作について

左列の動作を実行中に、各動作をした場合、以下のような優先動作になります。
- HDD録画：内蔵HDD録画またはUSBHDD録画
  HDD再生：内蔵HDD再生またはUSBHDD再生

■ 同時動作対応表

(○：実行できる／×：実行できない)

実行中の動作＼新たな動作		放送番組の視聴/選局	即時録画(HDD)	HDD録画予約	LAN録画予約	HDD再生	お部屋ジャンプリンク再生	ダビング	ホームサーバー機能		ブラウザ
									録画配信	放送配信	
放送番組の視聴中		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1番組をHDD録画中		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
2番組をHDD録画中		○※1	×	×	×	○	○	○※2	×	×	×
1番組をHDD録画中＋HDD再生中		×※3	×※3	○	○	×	×※3	×※3	○	×	×※3
2番組をHDD録画中＋HDD再生中		×※3	×※3	×	×	×	×※3	×※3	×	×	×※3
LAN録画中		○	○	○	×	○	×	×	×	×	×
LAN録画中＋HDD録画中		○※1	×	×	×	○	×	×	×	×	×
お部屋ジャンプリンク再生中		×※3	×※3	○	○※4	×※3	×	×	×	×	×※3
ダビング中		○	○※2※5	○※2※5	○※6	○	×	×	×※7	×※7	○
ダビング中＋1番組をHDD録画中		○	○	○	○※6	○	×	×	×※7	×※7	○
ダビング中＋2番組をHDD録画中		○※1	×	×	×	○※2	×	×	×※7	×※7	×
ホームサーバー機能	録画配信中	○	○※8	○※8	○※9	○	○※10	○※7※9	×	×	○※10
	放送配信中	○	○※8	○※8	○※9	○	○※10	○※7※9	×	×	○※10
ブラウザ実行中		×	×	○※11	○※12	×※3	×※3	×※3	×	×	×

※1 録画中のチャンネルのみ選局できます。
※2 2番組同時録画と同時にダビングを実行中に、HDDに録画した番組を再生すると、ダビングは停止されます。
※3 実行中の動作を終了させてからでないと、新たな動作はできません。
※4 LAN録画の開始でお部屋ジャンプリンク再生は停止されます。
※5 1番組を録画、ダビングとHDDに録画した番組を再生を同時にしているときに、さらにもう1番組を録画開始(HDD録画、LAN録画)すると、ダビングは停止されます。
※6 LAN録画の開始でダビングは停止されます。
※7 動作優先順位により動作が異なります。
LAN録画>いますぐダビング>ホームサーバー機能・あとからダビング
(ホームサーバー機能、あとからダビングは先に動作している方が優先されます。)
※8 1番組録画で放送配信は停止されます。(録画配信は停止されません。)
2番組録画で録画配信と放送配信は停止されます。
※9 ホームサーバー機能実行中にLAN録画、またはダビングを実行すると、ホームサーバー機能は停止されます。
※10 ホームサーバー機能実行中にお部屋ジャンプリンク再生、またはブラウザを実行すると、ホームサーバー機能は停止されます。
※11 2番組録画でブラウザは停止されます。
※12 LAN録画の開始でブラウザは停止されます

宅外リモート接続設定

以下は、82ページ手順❶～❸で「ネットワーク関連設定」画面を表示させてから行ってください。

宅外リモート接続設定

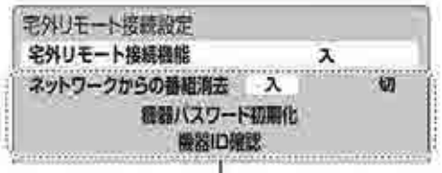
宅外の機器から本機の録画予約などを操作できる機能です。
宅外リモート接続機能をご利用になるには、対応サービスへの加入が必要です。

❹ ▲▼で「宅外リモート接続設定」を選び、決定 を押す

●宅外リモート接続設定画面が表示されます。

❺ ▲▼で「宅外リモート接続機能」を選び、決定 を押し、「入」または「切」を選ぶ

●宅外リモート接続を使用する場合は「入」を選んでください。



■ネットワークからの番組消去
ネットワークから録画コンテンツを削除する機能の入／切を切り換えます。

入 有効にします
切 無効にします

■機器パスワード初期化
リモート接続する場合のパスワード（4桁の数値）を初期化できます。
①▲▼で「機器パスワード初期化」を選び、決定 を押す。
②「する」を選び、決定 を押す。

■機器ID確認
ホームページから機器登録するために必要なIDを表示します。

宅外リモート接続機能のご利用について

個人情報の取り扱いについて
本機の機能およびサービスを提供するため、機器ID・機器パスワードおよび利用履歴情報は当社の適切なセキュリティ環境のもと、安全に保管・管理します。利用履歴などの情報については、個人が特定できない状態で集計し、製品やサービスの向上などに利用させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

不正利用を防ぐために
●機器パスワードは
・他人に見られたり、教えたりしないでください。
・第三者が本機の設置・設定を行った場合は、必ず変更してください。
・修理依頼する場合は機器パスワードを初期化し（☞ 左記）、再設定してください。
・機器を返却する場合は、機器パスワードを初期化してください。
●当社およびご加入のケーブルテレビ局では、ネットワークのセキュリティに関する技術情報についてはお答えできません。
●スマートフォンなどのモバイル機器を紛失した場合は、第三者による不正な使用を避けるため、直ちに加入されていた通信事業者、対応サービス提供者へ連絡してください。

対応サービスについて
サービスは対応サービス提供者が提供します。
●現在無料のサービスでも、将来有料になることがあります。
●宅外リモート接続機能のご利用には、対応サービスに加入していただく必要があります。
●定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。

免責事項について

●機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社およびご加入のケーブルテレビ局では不正利用された場合の責任は負いません。
●当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社およびご加入のケーブルテレビ局では責任を負いません。
●本機がお手元にない場所から問い合わせの際、本機自体の接続や現象などの目視確認が必要な内容については、お答えできません。
●ルーターのセキュリティ設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティ設定により発生した障害に関して、当社およびご加入のケーブルテレビ局では責任を負いません。また、外付けのルーターをご使用の場合、設定・使用方法などに関する問い合わせには、当社およびご加入のケーブルテレビ局ではお答えできません。

故障かな!?

症状	原因と処置	ページ
リモコンで操作できない	●電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？ ●リモコン受信部に向けて操作していますか？ ●電池の交換により、リモコン設定が変わる場合があります。 ●リモコンモードの設定は違っていませんか？ ●受信異常により、本機の操作ができなくなる場合があります。 →本体前面（扉内）にあるリセットボタンを押していただくか電源プラグを一度抜き、しばらくした後、再度電源プラグを差し込み動作を確認してください。	11 8 100 101 6 8
ダウンロードを行ったら、受信できなくなった	●ダウンロードの内容によっては、各種設定が工場出荷時の設定値に戻る場合があります。再度設定をやり直してください。	－
チャンネル番号が画面から消えない	●画面表示ボタンで、画面表示が出る状態にしていませんか？ →再度、画面表示ボタンを押してください。	14
横長映像や縦長映像になる	●「接続テレビ設定」が、接続されているテレビに合っていますか？ ●ワイドテレビの場合、映像に合った画面モードに設定されていますか？	78 －
電源が入らなくなった（電源表示ランプが消灯状態）	●電源プラグを一度抜き、1分間程度おいてから再度電源プラグを差込み、電源を入れてください。 →症状が改善しない場合は、ケーブルテレビ局にご相談ください。	8
電源を入れても映像がすぐに出ない	●本機は電源を入れても、ソフトウェアが起動して映像を表示するまでに時間がかかる場合があります。 ●クイックスタート「入」に設定すると、出画時間を早くすることができます。	－ 81
電源「切」時に「D」表示が点灯する	●自動的に放送情報を受信するため、「D」（データ）表示が一時的に点灯する場合があります。 （通常、深夜から早朝）	8
映像も音も出ない	●テレビ側の入力切換え（テレビ／ビデオ）は間違っていませんか？	－

故障かな！？

症状	原因と処置	ページ
乱れた映像になるまたは特定のチャンネルで映像が乱れる	●本機のD端子映像出力端子をご使用の場合、D端子出力解像度設定が間違っていないか確認してください。	78
画質や音質が少し悪くなった	●降雨対応放送になっていませんか？ →雨の影響により、衛星からの電波が弱くなっている場合は、ケーブルテレビ局で電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り替える場合があります。降雨対応放送は画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質や音質に戻ります。	112
字幕や文字スーパーが出ない	●メニュー画面などが表示されていませんか？ →元の画面ボタンを押して、メニューや操作説明画面などを消してください。 ●「字幕の設定」の「字幕」や「文字スーパー」が「オフ」に設定されていませんか？ →「オン」にしてください。 ●「字幕の設定」の「字幕言語」や「文字スーパー言語」の設定が放送の言語と一致していますか？ →放送の言語に設定を合わせてください。 ●字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか？ →字幕は、「字幕」のアイコンが表示されている番組で表示されます。	－ 60 60 102
有料放送の視聴ができない	●ICカードが正しく挿入されていますか？ ●有料放送を視聴するための手続きはされていますか？ →視聴契約手続きをしてください。 ●ネットワークの接続は正しくされていますか？ →「ネットワーク接続テスト」が「OK」か確認してください。	67 － 70 84
画面に「購入できませんでした。」などが表示され、購入または予約ができない状態が続く	● IC カードは正しく挿入されていますか？ ●ネットワークの接続は正しくされていますか？ → 「ネットワーク接続テスト」が「OK」か確認してください。	67 70 84

症状	原因と処置	ページ
見るだけ予約が実行されない	●見るだけ予約をして、電源が「切」になっていませんか？ →見るだけ予約した場合、電源を「切」にしていると予約が実行されません。	30
時間指定予約で英語の音声が録画できない	●英語が第一音声で放送されていますか？ →デジタル放送では、第一音声と第二音声の2つの音声がある番組や、主音声と副音声がある二重音声の番組があります。 音声切換 □ を押して確認してください。	14
天面に触れると熱い	●本機は放熱のため天面の一部で温度が高くなります。品質・性能には異常ありません。（風通しの良い所に設置してください。）	6
無線LAN使用時、映像が途切れたり、接続が切れる	●無線方式が11n(5 GHz)対応のアクセスポイントを使用していますか？ ●11n(5 GHz)対応のアクセスポイントを使用している場合、アクセスポイントの設定を無線方式11n(5 GHz)にしていますか？ （詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。） ●電波を使う機器が近くにある場合は、機器から離してご使用ください。 （電子レンジ、デジタルコードレス電話機など） ●本機またはアクセスポイントを、良好な電波状態が確保できる場所に移動してください。 ●アクセスポイントの無線チャンネルを変更することで症状が改善することがあります。（詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。）	73 73 73 － －

故障かな！？

症状	原因と処置	ページ
録画予約が正常にできない（内蔵ハードディスク、USBハードディスク録画共通）	●番組のコピー制限により、録画されなかった可能性があります。予約一覧の履歴で確認してください。	35
	●録画予約時に停電などが発生したために正しく録画予約を実行できなかった可能性があります。予約一覧の履歴で確認してください。	35
	●録画予約開始時にICカードが正しく挿入されていなかった可能性があります。予約一覧の履歴で確認してください。	67 35
	●録画予約開始時の契約状態により、正しく録画されなかった可能性があります。予約一覧の履歴で確認してください。	35
録画予約が正常にできない（LAN録画）	●予約開始時に外部録画機器の電源が入っていなかったため、LAN録画を実行できなかった可能性があります。予約開始前に外部録画機器が録画可能な状態であることを確認してください。	－
	●予約開始時にLANが正常に動作せず、LAN録画を実行できなかった可能性があります。LAN ケーブルの接続や設定に問題がないか確認してください。	70 72 82 ～ 86
予約が正常にできない（LAN録画）	●外部録画機器と本機が正常に接続できていないと正しく予約できません。LAN ケーブルの接続や外部録画機器の設定を確認してください。	－
	●外部録画機器に重複する予約があると正しく予約できない場合があります。外部録画機器の予約を確認・変更し、再度予約してください。	－
	●外部録画機器が異常状態になっている場合など、正しく予約できないことがあります。外部録画機器を再起動し、再度予約してください。	－
外部録画機器が正常に登録できない（LAN録画）	●外部録画機器の電源がオフまたは異常状態になっている場合など、正しく登録できないことがあります。外部録画機器を再起動し、「設定する」→「ネットワーク関連設定」→「LAN通信設定」→「お部屋ジャンプリンク(DLNA)設定」→「お部屋ジャンプリンク機器一覧」でLAN録画に対応していることを確認してから再度登録してください。	85
	●外部録画機器と正常に接続できていないと正しく登録できません。LANケーブルの接続や外部録画機器の設定を確認してください。	70 72
録画予約が正常にできない（USBハードディスク録画）	●推奨品のUSBハードディスクを使用しているか確認してください。	24
	●USBハードディスクと本機が正常に接続されているか確認してください。	24
	●USBハードディスクが事前に機器登録されているか確認してください。	26
	●予約開始時にUSBハードディスクの電源が入っていなかったため、録画を実行できなかった可能性があります。予約開始前にUSBハードディスクが録画可能な状態であることを確認してください。	－
	●USBハードディスクの容量が不足している場合は正しく録画できません。予約開始前にUSBハードディスクが録画可能な状態であることを確認してください。	26

症状	原因と処置	ページ
録画した番組が視聴できない（USBハードディスク録画）	●USBハードディスクと本機が正常に接続され、USBハードディスクの電源が入っているか確認してください。	24
	●機器登録を削除したUSBハードディスクは、これまでに録画した番組は再生できなくなります。	25
LAN録画した番組が視聴できない（お部屋ジャンプリンク）	●外部録画機器の電源が「切」または異常状態になっていると正しく視聴できません。外部録画機器の電源を「入」して再度確認してください。	－
	●外部録画機器と正常に接続できていないと正しく視聴できません。LAN ケーブルの接続や設定に問題がないか確認してください。	70 72 82 ～ 86
ダビングが正常にできない（ダビング）	●外部録画機器の電源が「切」または異常状態になっていると正しくダビングができません。外部録画機器の電源を「入」して再度確認してください。外部録画機器の動作仕様ついては、外部録画機器の取扱説明書を参照してください。	－
	●外部録画機器と正常に接続できていないと正しくダビングできません。LAN ケーブルの接続や設定に問題がないか確認してください。	70 72 82 ～ 86
	●ネットワーク接続による機能の優先動作や、外部録画機器側の状態（電源が「切」になっている、外部録画機器側での録画予約が開始される等）によりダビングできないことや、中止することがあります。ダビングの状況を確認してください。 ・あとからダビング一覧 ・ダビング履歴	46 65
	●ダビング時に停電などが発生したために正しくダビングを実行できなかった可能性があります。ダビング履歴一覧で確認してください。	65
外部録画機器を登録できない（ダビング）	●外部録画機器と本機が正常に接続できていないと正しく登録できません。LAN ケーブルの接続や設定に問題がないか確認してください。	70 72 82 ～ 86
	●外部録画機器が本機からのダビングに対応していることを確認してください。 「設定する」→「ネットワーク関連設定」→「LAN通信設定」→「お部屋ジャンプリンク(DLNA)設定」→「お部屋ジャンプリンク機器一覧」で確認できます。	85
	●外部録画機器側の動作制限（他の録画予約を実行しているなど）、異常状態になっているなどの場合、正しくダビングの登録ができないことがあります。外部録画機器の動作仕様については、外部録画機器の取扱説明書を参照してください。	－

メッセージ表示一覧

本機では、メールで送られてくる情報とは別に、状況に合わせて「メッセージ」が表示されます。
主なメッセージとその内容は下記の通りです。

メッセージ	内容
購入できません。本機の接続・設定を確認のうえ、ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	購入記録が送信できず、ICカードの記録容量を超えている場合などに表示されます。ネットワークの接続・設定をご確認ください。(☞ 70、82ページ)
現在、受信できません。	受信するための送信データが異常の場合に表示されます。
視聴できません。 視聴するには、「決定」ボタンを押してください。	有料番組の購入をしなかった場合などに表示されます。決定ボタンで、再度選局操作が行えます。
気象条件などにより、信号品質が低下しています。	雨等の影響により、衛星からの電波が弱くなったため、ケーブルテレビ局で引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り替えると表示されます。画質、音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合もあります。
緊急警報放送が開始されました。「決定」ボタンで選局、「戻る」ボタンで本メッセージを非表示にします。	緊急警報放送が始まると表示されます。必ず放送内容を確認するようにしてください。
C-CASカードを正しく挿入してください。	ICカードの挿入方向の間違い、または使用できないカードが挿入されると表示されます。本機専用のICカードを正しく挿入してください。(☞ 67ページ) ICカードが挿入されていない場合にも表示されます。
B-CASカードを正しく挿入してください。	
C-CASカード(またはB-CASカード)の交換が必要です。ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	ICカードの交換が必要なときに表示されます。 ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
このC-CASカード(またはB-CASカード)は使用できません。ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	
信号が受信できません。ケーブルの接続を確認してください。接続に問題がない場合は、ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	●ケーブル宅内線の接続不良などでケーブル入力信号が正しく入力されていないと表示されます。ケーブル宅内線の接続などを確認してください。 ●天候の影響などでケーブルテレビ局において受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選局していると表示される場合があります。
チャンネル制限が設定されている為選局できません。	視聴制限のチャンネルスキップ設定でスキップ設定したチャンネルを選局しています。(☞ 62ページ)
このチャンネルはご覧いただけません。ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	視聴するために契約が必要な番組を選局すると表示されます。ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
視聴条件によりご覧いただけません。ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	
このチャンネルは契約されていません。ご加入のケーブルテレビ局へ連絡してください。	
ご契約の確認をしております。 しばらくお待ちください。	視聴するために契約が必要な番組を選局すると表示されます。しばらく待って選局されない場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

メッセージ	内容
番組がワイド放送の場合、両端を切り取った映像に変換して出力します。 (データ放送時を除く)	両端に黒帯がある映像の場合、黒帯部分を切り取った映像になりますので、ご注意ください。 (☞ 17ページ)
HDDに正しくアクセスできません。録画または再生を停止します。リセットボタンを押して再起動してください。	ハードディスクの異常により、録画・再生ができません。リセットボタンを押して再起動してください。(☞ 8ページ)
HDDが満杯のため、録画できません。	ハードディスクが満杯状態で空き容量が不足しているため、録画ができません。不要な録画番組を消去してください。(☞ 39ページ)
表示できる画像データがありません。	本機は、SDメモリーカードにJPEG形式で記録された静止画ファイルを表示することができます。SDメモリーカード内に表示可能な静止画ファイルがありません。

ブラウザ関連のメッセージ表示

ネットワーク設定の接続テスト時やブラウザ使用時の主なエラーメッセージと内容は、下記の通りです。

メッセージ	内容
IPアドレスが設定されていません。 本機の「ネットワーク関連設定」をご確認ください。(C201)	ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
IPアドレスが取得できませんでした。 接続や設定をご確認ください。(C203)	
接続テストに失敗しました。 ゲートウェイが応答しません。 接続や設定をご確認ください。(C207)	
IPアドレスの重複を検出しました。 設定をご確認ください。(C204)	
接続テストを実行できませんでした。 (C205)	一度、本機の電源プラグをコンセントから抜いて入れなおして、再度実行してください。それでも症状が改善しない場合、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
アドレスが正しく設定できませんでした。 (C206)	
接続先サイトの証明書の検証で問題がありました。接続先の安全性が確認できませんが接続しますか？サイト名：○○○○	接続先サイトが安全かどうかの確認ができませんでした。このまま接続することもできますが、接続しないことをお勧めします。しばらく待って再度実行すると、接続先の安全性が確認できる場合もあります。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠ 注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

異常・故障について

異常・故障時は直ちに使用を中止してください

電源プラグを抜く

■異常があったときは電源プラグを抜いてください
・煙が出たり、異常な臭いや音がする
・映像や音声が出ないことがある
・内部に水などの液体や異物が入った
・本機に変形や破損した部分がある

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
●すぐに電源プラグをコンセントから抜いてケーブルテレビ局に修理をご相談ください。
●お客様による修理は危険ですから、おやめください。

水ぬれについて

水ぬれ禁止

■上に花びん、コップなどを置かないでください
火災・感電の原因になります。

誤飲防止について

■メモリーカード類は、乳幼児の手の届く所に置かないでください
誤って飲み込むおそれがあります。
●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

雷について

接触禁止

■雷が鳴りだしたときは、アンテナ線や本機には触れないでください
感電の原因になります。

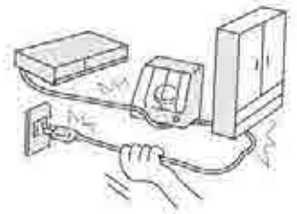
異物について

■内部に金属類・燃えやすいものなどの異物を入れないでください
火災・感電の原因になります。
●特にお子様にはご注意ください。

⚠ 警告

電源コード・電源プラグについて

■破損するようなことはしないでください
(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)
火災・感電・ショートなどの原因になります。
●修理は、ケーブルテレビ局にご相談ください。



■傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください
火災・感電・ショートなどの原因になります。
●修理は、ケーブルテレビ局にご相談ください。

■電源プラグは根元まで確実に差し込んでください
差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因になります。

■交流 100 V以外で使用しないでください
■コンセント・配線器具の定格を超えて使わないでください
■たこ足配線などをしないでください
発熱による火災の原因になります。

■電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください
ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。
●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

ぬれ手禁止

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください
感電の原因になります。

■電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください
火災や感電の原因になります。

設置について

■不安定な場所に置かないでください
倒れたり、落ちたりしてけがの原因になります。

分解禁止について

分解禁止

■カバーを外したり、本機を改造しないでください
火災・感電の原因になります。
●内部の点検・調整・修理はケーブルテレビ局にご相談ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠ 注意

本機の取り扱いについて

■乗らないでください
倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

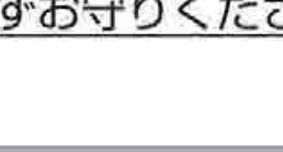
■上に物を置かないでください
落下してけがの原因になることがあります。

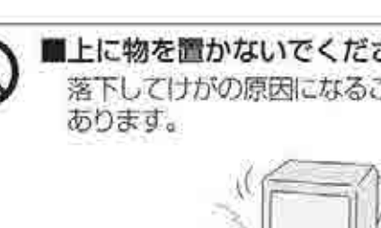
■接続ケーブルを無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったりしないでください
火災・感電の原因になることがあります。

■接続ケーブルを壁面に挟んだり、足をひっかけたりしないように処理を行ってください
火災・感電・けがの原因になることがあります。

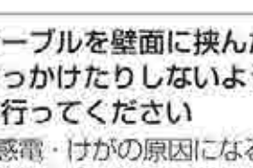
設置について

■通風孔をふさがないでください
■風通しの悪い狭い所で使用しないでください
■あお向けや、横倒し、逆さまにして使用しないでください
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
●テレビ台などに設置した場合、上側が6 cm以上、左右が1 cm以上、後側が10 cm以上の間隔をあけて据えつけてください。





■湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所(調理台や加湿器のそばなど)に置かないでください
火災・感電の原因になることがあります。



⚠ 注意

電源プラグについて

電源プラグを抜く

■長期間使用しないときはコンセントから抜いてください
電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因になることがあります。

■電源プラグを持って抜いてください
電源コードを引っぱると破損し、火災・感電・ショートの原因になることがあります。

電池の取り扱いについて

■新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください
間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。

■極性(プラス⊕とマイナス⊖)を逆に入れないでください
間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。
挿入指示通り正しく入れてください。(11ページ参照)

移動について

■移動させる前に接続線などをはずしてください
(電源プラグ、アンテナ線、機器間の接続線)
電源コードや本機が損傷し、火災・感電の原因になることがあります。

お手入れについて

電源プラグを抜く

■お手入れの前に、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください
感電の原因になることがあります。

お手入れについて

キャビネットをいためないために次の点にお気をつけください。

●殺虫剤、ベンジン、シンナー、アルコールなど揮発性のものをかけないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
●ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。跡がつくことがあります。
●汚れは柔らかい布でふきとってください。汚れがひどいときは、水で薄めた台所用洗剤(中性)に浸した布をかたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

仕様

本体

品名		CATV デジタルセットトップボックス		
品番		TZ-HDW610F	TZ-HDW610P	TZ-HDW610PW
		TZ-HDW611F	TZ-HDW611P	TZ-HDW611PW
使用電源		AC100 V　50 Hz ／ 60 Hz 両用		
消費電力	電源オン	TZ-HDW611F：26 W TZ-HDW610F/TZ-HDW611P/TZ-HDW611PW：23 W TZ-HDW610P/TZ-HDW610PW：20 W		
	電源オフ	0.1 W		
	機能待機時	TZ-HDW611F：21 W TZ-HDW610F/TZ-HDW611P/TZ-HDW611PW：18 W TZ-HDW610P/TZ-HDW610PW：16 W		
デジタル放送		●受信変調方式：64QAM（Annex.C） 受信周波数帯域：90 MHz～770 MHz 入力レベル：49～81 dBμV（平均値）		
		●受信変調方式：OFDM 受信周波数帯域：90 MHz～770 MHz 入力レベル：47～81 dBμV（平均値）		
ケーブルモデム		●受信変調方式： 64QAM/256QAM（Annex.B） 受信周波数帯域： 90 MHz～770 MHz 入力レベル： 49～79 dBμV（平均値） ●送信変調方式： QPSK/16/32/64/128QAM 送信周波数帯域： 10 MHz～55 MHz 出力レベル： 68～118 dBμV	——	
ハードディスク容量		TZ-HDW610F/TZ-HDW610P/TZ-HDW610PW：500 GB TZ-HDW611F/TZ-HDW611P/TZ-HDW611PW：1 TB		
接続端子		●ケーブル端子：F型接栓、75 Ω ●分配出力端子：F型接栓、75 Ω ●D端子映像：D1／D2／D3／D4映像 出力端子　(Y)1.0 V[p-p]、75 Ω(PB、PR)0.7 V[p-p]、75 Ω ●出力：映像(1.0 V[p-p]、75 Ω)、音声(250 mV[rms](標準)、2.2 kΩ以下) ●光デジタル音声出力端子　：−18 dBm 660 nm ●HDMI映像・音声出力端子 ●SDメモリーカード挿入口(SDHC・SDXCメモリーカード対応) ●LAN(100BASE-TX)端子		
		●USB端子(無線LANアダプター/USB HDD用)： DC5 V　MAX500 mA	●USB端子(USB HDD用)： DC5 V　MAX500 mA	
外形寸法		幅 36 cm・高さ 6 cm（脚含む）・奥行き 26 cm（冷却ファンのカバー含む）		
質量		TZ-HDW610F/TZ-HDW610P/TZ-HDW610PW：約 2 kg TZ-HDW611F/TZ-HDW611P/TZ-HDW611PW：約 2.4 kg		
環境条件		使用周囲温度範囲 5 ℃～40 ℃　許容相対湿度範囲 10 %～80 %(結露のないこと)		

リモコン

使用電源	DC3 V（単 3 形マンガン乾電池 2 個使用）
操作距離・範囲	約 7 m 以内（本体正面距離）、左右各約 30° 以内、上下各約 15° 以内
質量	約 160 g（乾電池含む）

SDカード機能

対応フォーマット	FAT16、FAT32、exFAT

● 静止画 (JPEG)		● 動画 (MPEG-2)	
画像ファイル形式	JPEGベースライン方式(DCF準拠)	ファイル形式	SD VIDEO規格準拠
フォルダ数	最大 300	圧縮方式	MPEG-2(SD VIDEO規格)
ファイル数	最大 3000	● 動画 (AVCHD)	
		ファイル形式	AVCHD 規格準拠
		圧縮方式	MPEG-4 AVC/H.264(AVCHD規格)

●本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
※本機を使用できるのは、日本国内のご加入されているケーブルテレビ局サービスエリア内のみです。
外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

* This device can only be used inside Japan in areas that are covered by subscription cable TV services. Because of differences in broadcast formats and power supply voltages, it cannot be used in overseas countries.

ブラウザ仕様

記述言語	HTML4.0 準拠	モノメディア(静止画)	JPEG、PNG、GIF
スタイルシート規格	CSS1/CSS2（Subset）	プラグイン	なし
動作記述言語	JavaScript 1.5/ECMAScript (ECMA-262)	文字入力	画面キーボード方式、リモコン (携帯電話) 方式
セキュア通信	SSL2.0/SSL3.0/TLS1.0	画面解像度	800 × 450
Cookie	バージョン 0	カラーモデル	フルカラー

録画時間のめやす

●「標準」の録画時間は、放送の転送レートによって異なります。
●録画可能時間は理論値によって計算しているため、実際と異なる場合があります。
●画質は「長時間 1」「長時間 2」の順で「標準」より劣化します。

録画モード ／ 容量	標準			長時間 1	長時間 2
	地上デジタル HD 放送 (≦ 17 Mbps)	BS デジタル HD 放送 (≦ 24 Mbps)	デジタルCATV 放送 (≦ 14 Mbps)		
TZ-HDW610 (500 GB)	約 60 時間	約 43 時間	約 75 時間	約 175 時間	約 350 時間
TZ-HDW611 (1 TB)	約 121 時間	約 86 時間	約 150 時間	約 344 時間	約 688 時間

商標などについて

●SDXCロゴはSD-3C、LLCの商標です。
●CP8 PATENT
●HDAVI Control™は商標です。
●HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
●DLNA® , the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
●"AVCHD"および"AVCHD"ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
●本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
・AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
・ライセンスをうけた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合
詳細については米国法人MPEG LA, LLC(http://www.mpegla.com)を参照ください。
●ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
●Gガイドは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
●米国Rovi Corporationおよびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
●天災、システム障害その他の事由により、電子番組ガイド(EPG)が使用できない場合があります。当社は電子番組ガイド(EPG)の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
●日本語変換はオムロンソフトウエア(株)のモバイルWnnを使用しています。
"Mobile Wnn" ©OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved.

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

●この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、操作一覧ボタンを押し、「情報を見る」→「ステータス表示」→「ソフト情報表示」をご参照ください。

無線LAN使用上の注意

※ TZ-HDW610PW / TZ-HDW611PW に内蔵している無線 LAN の注意事項です。

■ 使用周波数帯

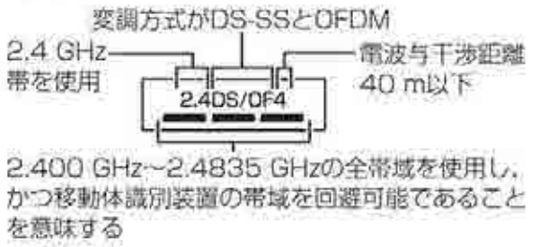
無線LANは2.4 GHz 帯と5 GHz 帯の周波数帯を使用します。
他の無線機器も同じ周波数帯を使用している可能性があります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

■ 使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を有する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、ご加入のケーブルテレビ局にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談してください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、ご加入のケーブルテレビ局へご相談ください。

■ 無線LANの周波数表示の見かた (本機背面に記載)



2.400 GHz~2.4835 GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

■ 機器認定

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
・分解／改造する
・本機に貼ってある証明ラベルをはがす

■ 使用制限

・日本国内でのみ使用できます。
・法令により本機の5 GHz帯無線装置を屋外で使用することは禁止されています。

■ 無線LANの仕様

準拠規格	IEEE802.11a/b/g/n
使用周波数範囲/チャンネル(中心周波数)	2.412 GHz~2.472 GHz /1~13ch 5.180 GHz~5.240 GHz /W52:36, 40, 44, 48ch 5.260 GHz~5.320 GHz /W53:52, 56, 60, 64ch 5.500 GHz~5.700 GHz /W56:100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch
セキュリティ	WPA2-PSK(TKIP/AES) WPA-PSK(TKIP/AES) WEP(64bit/128bit)

さくいん

「安全上のご注意」を必ずお読みください
(☞114～117ページ)

英数字

■3D番組 …… 59
■3桁入力 …… 12、13
■480i(525i)、480p(525p)、1080i(1125i)、720p(750p) …… 79、80
■AACS …… 80
■B-CASカード …… 67
■B-CASカードテスト …… 81
■Bitstream …… 92
■BSデジタル …… 4
■CATVデジタル …… 4
■C-CASカード …… 67
■C-CASカードテスト …… 81
■D端子映像出力 …… 9、69
■D端子出力解像度 …… 78、80
■ECOスタンバイ …… 91
■HDMI端子 …… 9、68
■HDMI端子出力解像度 …… 79、80
■HDオプティマイザー …… 62
■ICカードの挿入 …… 67
■JLabs対応機器 …… 4、5、41～48、85
■LAN通信設定 …… 82
■LAN録画 …… 4、29
■PCM …… 92
■USBハードディスク機器一覧 …… 26
■USBハードディスク起動設定 …… 27
■USB端子 …… 9、24、72
■USBハードディスクの接続・設定 …… 24～27
■SDメモリーカード …… 49、50
■WPS …… 83

あ 行

■アイコン …… 102
■あとからダビング …… 45
■暗証番号 …… 62、63
■一番組限度額 …… 63
■裏番組 …… 20
■いますぐダビング …… 43
■枝番号 …… 13
■オーディオ機器 …… 92
■オフタイマー …… 16
■お好み選局(設定) …… 13、76
■お好みページ …… 56
■お部屋ジャンプリンク …… 41、85
■音声ガイド …… 59、61
■音声切換 …… 14

か 行

■カーソル …… 18、57
■開始時刻修正 …… 34
■画面キーボード方法 …… 58、60
■画面表示 …… 10、14
■画面モード …… 17
■カラーボタン …… 10
■漢字変換 …… 57、58
■機器選択 …… 40
■機器登録／削除／取り外し(USBハードディスク) …… 26、27
■記号入力 …… 57、58
■機能待機 …… 8、118
■クイックスタート …… 81
■携帯電話方法(リモコンボタン) …… 57、60
■ケーブルテレビ宅内線の接続 …… 66
■県域設定 …… 77
■購入記録 …… 64
■個人情報リセット …… 90
■コピーガード …… 15
■コンポーネント映像 …… 69

さ 行

■サーチ …… 37
■再スキャン(チャンネル設定) …… 75
■再生中の操作 …… 37
■サイドカット(画面モード) …… 17
■探して毎回予約 …… 32
■サブメニュー …… 16
■時間指定予約 …… 31
■視聴可能年齢 …… 63
■視聴購入 …… 15
■視聴制限 …… 62
■視聴制限一時解除 …… 37、41
■字幕の設定 …… 60
■写真一覧(SDメモリーカード) …… 51、52
■写真再生(SDメモリーカード) …… 50
■ジャンル検索 …… 20
■受信チャンネル設定 …… 74～76
■順送り選局 …… 12、60
■消音 …… 10
■消費電力 …… 118
■詳細設定(録画予約) …… 33、34
■初期スキャン(チャンネル設定) …… 75
■シングル表示(SDメモリーカード) …… 51
■スキップ再生 …… 37
■ステータス表示 …… 65
■スライドショー(SDメモリーカード) …… 51
■接続テレビ設定 …… 78～80
■設置設定 …… 74～81
■設定リセット …… 90
■選局対象 …… 60
■前面パネル輝度 …… 61
■操作一覧 …… 104
■ソフトウェア更新(ネットワーク) …… 89

た 行

■タイムワープ …… 37
■ダウンロード …… 89
■宅外リモート接続設定 …… 106
■ダビング …… 42
■ダビングモード …… 85
■ダビング履歴 …… 65
■端末情報送信 …… 54
■地域設定 …… 77
■地上デジタル …… 4
■チャプター …… 38、61
■チャンネルアップダウン …… 12、60
■チャンネルスキップ設定 …… 62
■チャンネル設定(BS・CATV・地上) …… 74
■注目番組 …… 22
■通常方式(文字入力) …… 57、58、60
■デジタル音声出力(光)端子 …… 92
■デジタル音声出力 …… 92
■データ放送 …… 23
■テレビの接続 …… 68
■電源表示ランプ …… 8

な 行

■二重音声設定 …… 61
■入力モード …… 57、58
■入力文字一覧表 …… 101
■ネット操作 …… 54
■ネットワーク関連設定 …… 82～88

は 行

■ハードディスクに関する注意 …… 7、25
■番組購入 …… 15
■番組内容 …… 14
■番組表 …… 18
■番組表設定 …… 77
■番組予約 …… 29～35
■番組を探す …… 20
■番組を並べ替える …… 38
■ビエラリンク(HDMI) …… 91、93
■ビデオ再生(SDメモリーカード) …… 53
■付属品 …… 裏表紙
■ブラウザ …… 54
■ブラウザ仕様 …… 119
■ブラウザ制限 …… 55
■プレビュー …… 15
■プロキシサーバー設定 …… 88
■プロテクト設定(上書き禁止) …… 38
■ペイ・パー・ビュー …… 15
■変換方式(文字入力) …… 60
■放送を選ぶ …… 12
■放送メール …… 64
■ホームサーバー機能 …… 48、86
■ポータルサイト …… 54
■ボード …… 65

ま 行

■毎日・毎週(連続予約) …… 31
■まとめ番組 …… 40、61
■マニュアル(チャンネル設定) …… 75
■マルチビュー放送 …… 16
■見ている番組を録画する(即時録画) …… 28
■見るだけ予約 …… 30
■無線LAN …… 72、82、121
■無操作自動オフ …… 81
■メール …… 64
■メッセージ表示 …… 112
■文字スーパー …… 60
■文字入力 …… 57、58

や 行

■郵便番号 …… 77
■有料番組 …… 15
■予測方式(文字入力) …… 57、58、60
■予約一覧(変更／取り消し) …… 35
■予約方式 …… 30、31

ら 行

■リモコン受信部 …… 8
■リモコンのメーカー設定 …… 100
■リモコンモード …… 101
■録画一覧 …… 36
■録画機器 …… 31
■録画購入 …… 15
■録画時間の目安 …… 36
■録画・視聴設定 …… 61
■録画停止 …… 28
■録画番組の自動消去 …… 61
■録画番組を消去する …… 39
■録画番組を見る …… 36
■録画モード …… 31
■録画モード変換 …… 39
■録画予約 …… 29～35